

I 現状・課題

I-1 市の現状

(1)市の人口

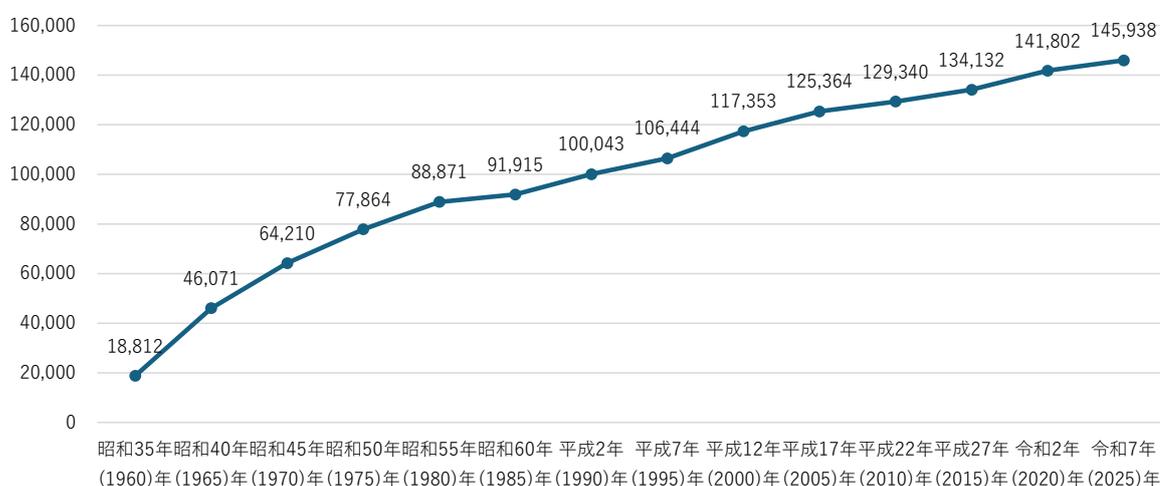
① 総人口の推移

総人口は、昭和 35(1960)年から増加傾向にあり、令和 7(2025)年時点で 145,938 人となっています。

昭和 35(1960)年から昭和 55(1980)年までは、5 年間ごとに 10,000 人以上、人口が増加しており、昭和 60(1985)年以降は 5 年ごとに 5,000 人前後の増加を続けています。

■総人口の推移

(人)

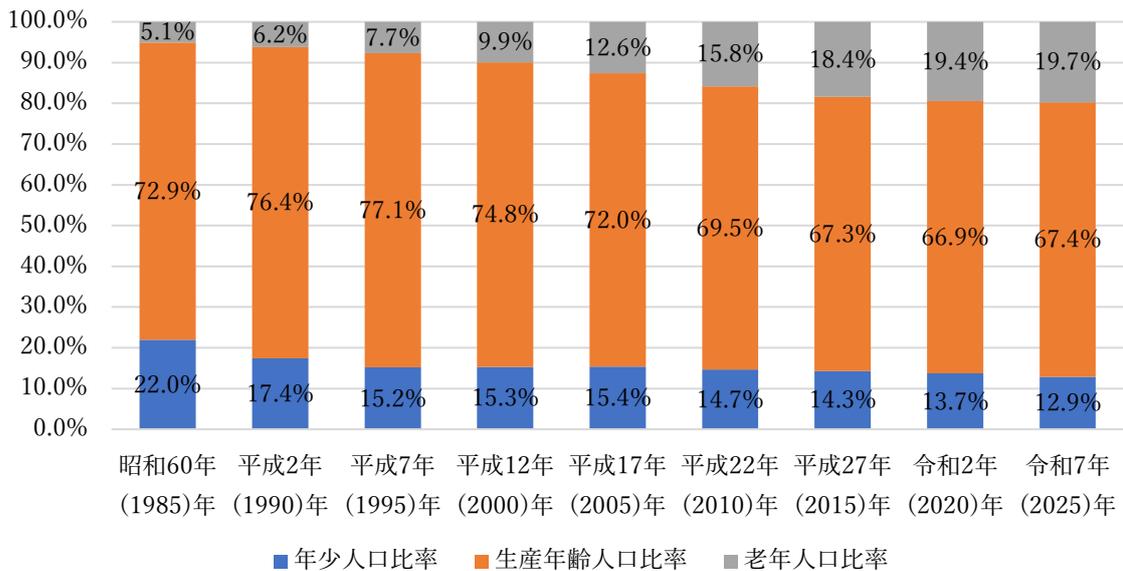


出典:統計あさか

② 人口構成比(年齢3区分)の推移

年少人口構成比は、昭和 60(1985)年から令和7(2025)年までに、9.1%減と、減少傾向にあります。対して、老年人口構成比は、昭和 60(1985)年から令和7(2025)年までに、14.6%増となっており、少子高齢化が進んでいることが伺えます。

■人口構成比(年齢3区分)の推移



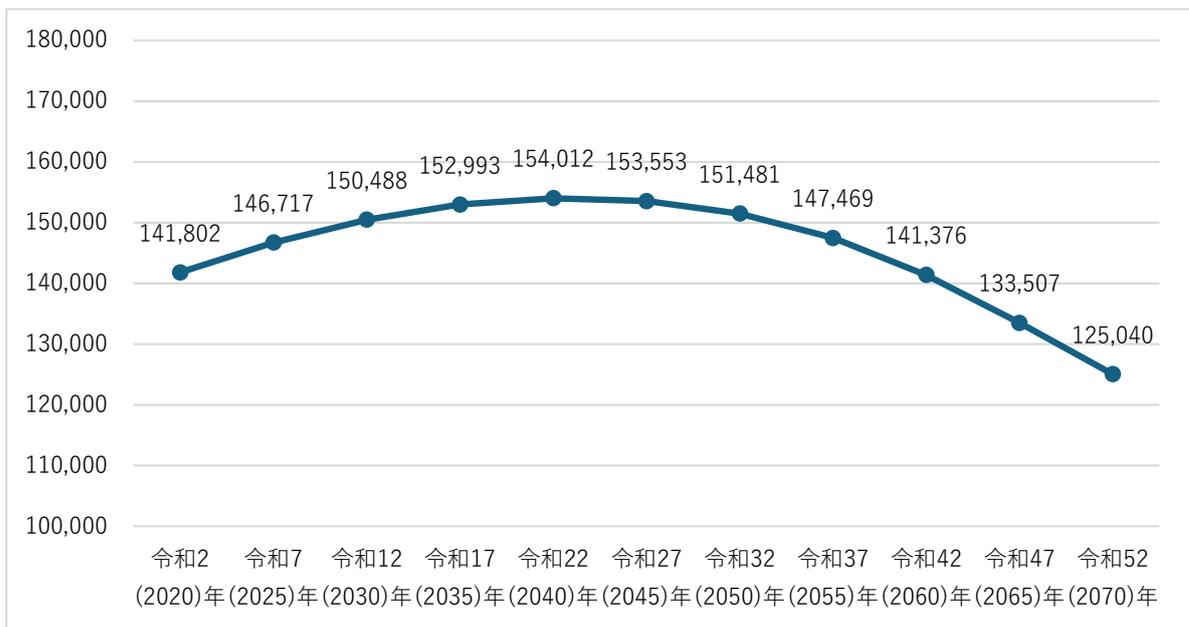
出典:統計あさか

③ 将来人口推計

将来の人口は、令和 22(2040)年まで増加傾向で推移し、ピーク時には 154,012 人になると見込まれます。令和 22(2040)年以降は、減少傾向に転じて、令和 52(2070)年には 125,040 人になると見込まれます。

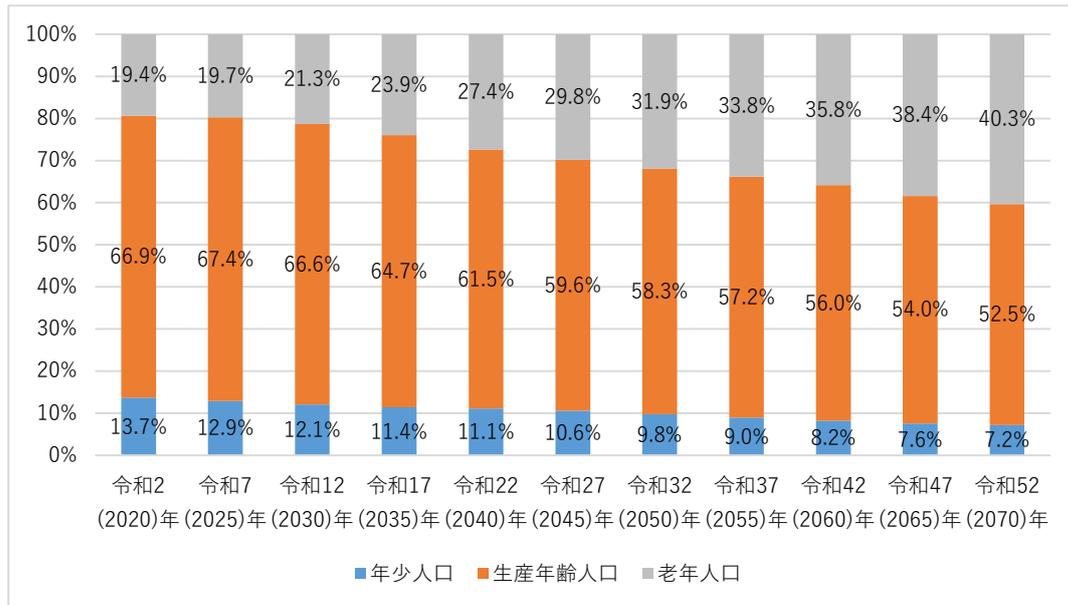
年齢3区分別人口の比率をみると、老年人口の比率は増加すると見込まれ、高齢化の進展が予想されます。

■将来人口推計(出生低位×移動中位)



出典:第6次朝霞市総合計画策定に向けた人口推計(推計シミュレーション)令和6年(2024年)8月

■将来人口構成比(年齢3区分)の推計



出典:第6次朝霞市総合計画策定に向けた人口推計(推計シミュレーション)令和6年(2024年)8月

■推計の条件

ア 基準人口

令和2(2020)年住民基本台帳人口

イ 合計特殊出生率

平成30(2018)年から令和4(2022)年における平均値 = 1.35から、令和12(2030)年には1.30、令和22(2040)年には1.20、令和52(2070)年には1.00と低下

ウ 純移動率

平成30(2018)年から令和5(2023)年の5年間における男女別・年齢5歳階級別の変化率から算出した値から、令和42(2060)に転出入均衡(純移動率ゼロ)へと変化

エ 生残率

国立社会保障・人口問題研究所「将来の生残率、純移動率、子ども女性比と0～4歳性比_日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」_朝霞市を採用

オ 0～4歳性比

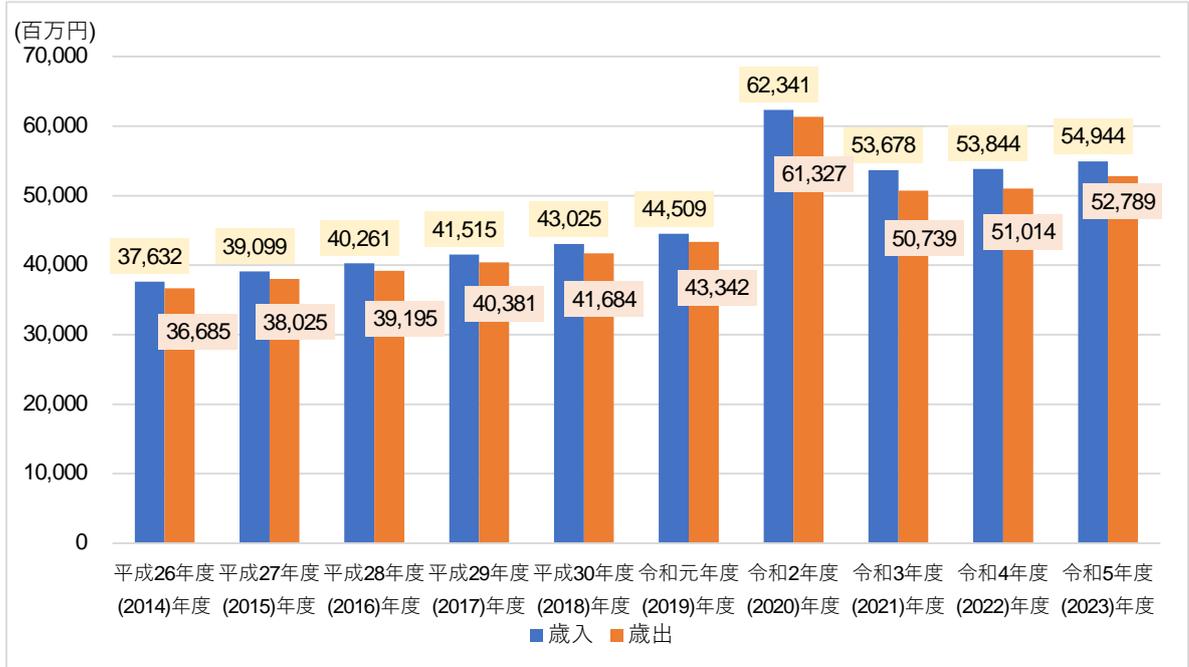
国立社会保障・人口問題研究所「将来の生残率、純移動率、子ども女性比と0～4歳性比_日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」_朝霞市を採用

(2)市の財政状況

① 歳入・歳出の状況

歳入額、歳出額はともに平成26(2014)年度から増加傾向で推移し、令和5(2023)年度には歳入額が約549億円、歳出額が約538億円となっています。

■歳入・歳出の推移(10年間)

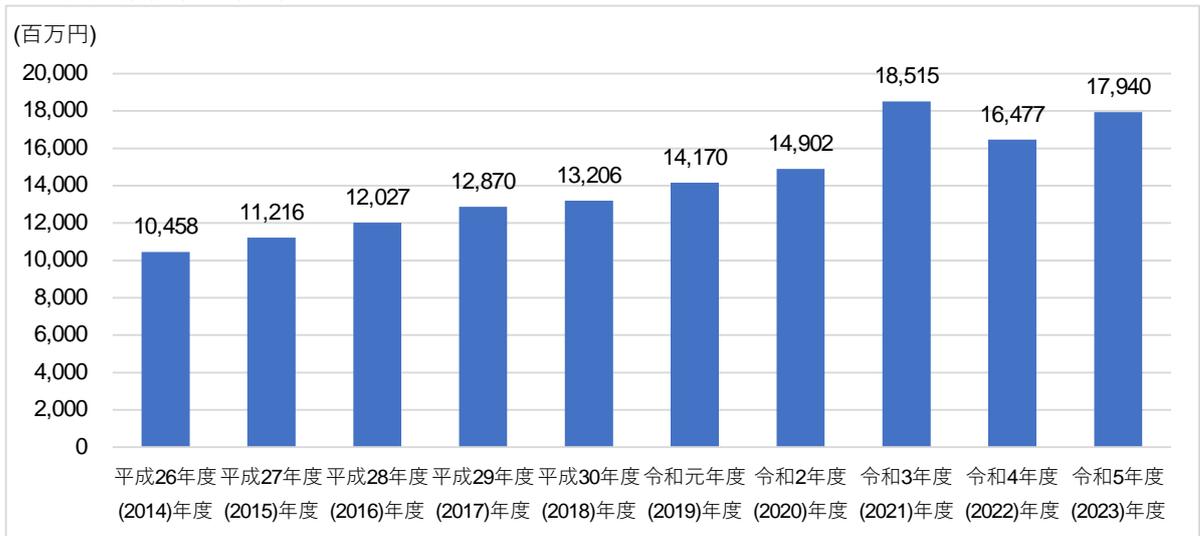


出典:朝霞市の財政

② 扶助費の推移

扶助費^{用語33}は、平成26(2014)年度に約105億円であったものが、令和5(2023)年度に約179億円と、およそ1.7倍に増加しており、今後も継続して増加することが考えられます。

■扶助費の推移(10年間)



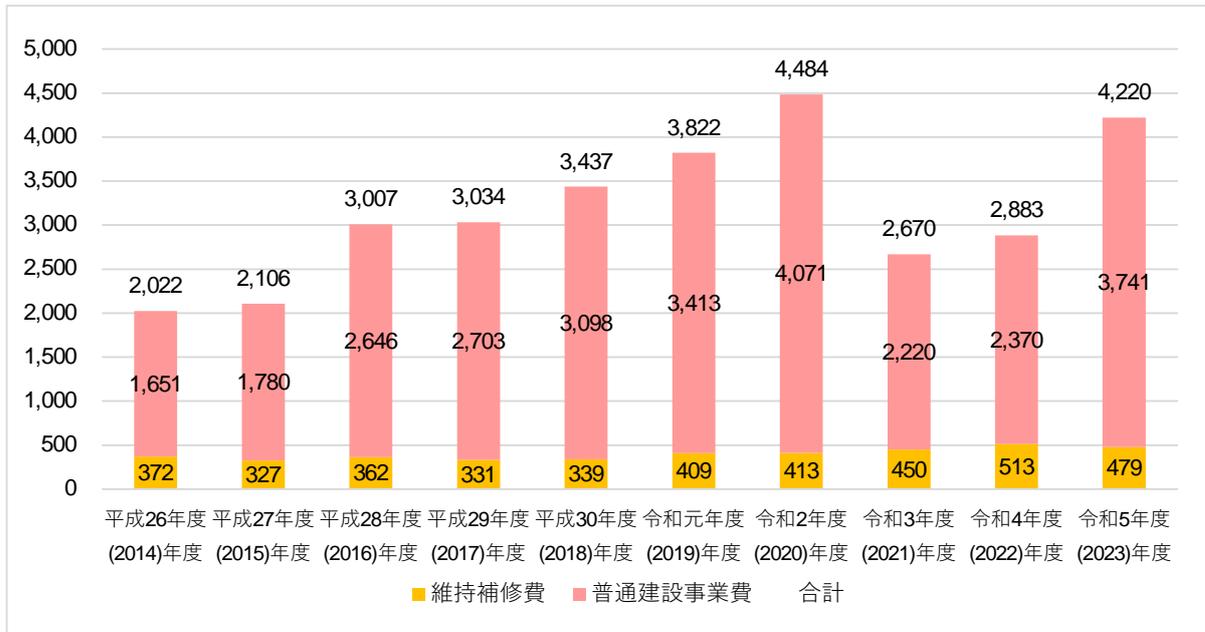
出典:朝霞市の財政

③ 普通建設事業費及び維持補修費の推移

公共施設の維持管理や建設に係る経費である普通建設事業費^{用語 34}、維持補修費^{用語4}の推移をみると、維持補修費は近年、微増傾向にあり、普通建設事業費は年度によって増減しています。

普通建設事業費、維持補修費の合計金額を過去10年間で平均すると、1年あたり約31.7億円となります。

■普通建設事業費及び維持補修費の推移(10年間)



出典：朝霞市の財政

I-2 対象施設の現状

(1) 公共施設カルテを用いた現状分析

本計画の策定に伴い、平成 26(2014)年に作成した「朝霞市公共施設白書」を活用した「公共施設カルテ用語¹¹」を作成しました。

公共施設カルテは、「敷地情報」、「建物情報」、「施設情報」、「利用状況」、「運営コスト状況」、「過去の改修工事の履歴」、「環境配慮」、「防災」、「備考」の9項目で構成しています。

この公共施設カルテを用いて、小中学校及び供給処理施設を除く対象施設1の現状について整理を行います。

■公共施設カルテの様式(1/4)

NO.	施設名：				施設の 外観写真を 添付ください
担当部課係：					
担当者氏名：			作成日：		
単独/複合の別			更新日：		

1. 敷地情報（複合施設で「複合（従）」の場合は入力不要）

所在地	地番		
	住所		
敷地面積		㎡	うち借地面積
			㎡
主要な用途地域		借地料	円/年
容積率（%）	%	建蔽率（%）	%
			借地更新年度（西暦）
地域区分		小学校区	

2. 建物情報（複合施設の場合は各施設の所管する部分のみ回答）

大分類			中分類						
建物	建築面積	㎡		延床面積	㎡				
	主要な建物の築年（西暦）								
	建物所有状況			賃料	円/年				
バリアフリーの設置状況	県条例への適合	点字ブロック	スロープ	エレベーター	多目的トイレ	授乳室	自動ドア	音声ガイド用スピーカー	車いす用駐車場
								有無	台数
棟別情報	建物（棟）名称	主たる構造	階数	建築面積	延床面積	築年（西暦）	耐震工事実施状況	アスベスト調査実施状況	
	棟01		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟02		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟03		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟04		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟05		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟06		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟07		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟08		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟09		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟10		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟11		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟12		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟13		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟14		地上階 地下階	㎡	㎡				
	棟15		地上階 地下階	㎡	㎡				
棟16		地上階 地下階	㎡	㎡					
付随する工作物等									

■公共施設カルテの様式(2/4)

3. 施設情報（複合施設の場合は各施設の所管する部分のみ回答）

設置条例					
補助事業等名称					
設置目的					
利用時間（24時間表示）	開始		休所(館)日		
	～ 終了		開館日数		
運営形態				駐車場台数	台
運営委託料（千円）				駐輪場台数	台

4. 利用状況（複合施設の場合は各施設の所管する部分のみ回答）

(1) 全体

利用者数（人）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
貸室利用の稼働率						



★学校、保育所は総クラス数

総クラス数	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均クラス数（人）



■公共施設カルテの様式(3/4)

(2) 諸室ごとの利用状況(令和元年度実績)

		室01	室02	室03	室04	室05	室06	室07	室08	室09
主要諸室 の構成	諸室名称									
	面積 (㎡)									
	利用定員 (人)									
貸室利用	年間貸出可能コマ数a									
	年間貸出コマ数b									
	稼働率 b/a									
	年間利用人数									

		室10	室11	室12	室13	室14	室15	室16	室17	室18
主要諸室 の構成	諸室名称									
	面積 (㎡)									
	利用定員 (人)									
貸室利用	年間貸出可能コマ数a									
	年間貸出コマ数b									
	稼働率 b/a									
	年間利用人数									

5. 運営コスト状況(令和元年度)(複合施設で「複合(従)」の場合は入力不要)

支出 (千円)	維持管理に係る経費				運営に係る経費			
	人件費				人件費			
	建物管理費				光熱費	電気	水道	
	清掃費					ガス	その他	
	修繕費・消耗品				委託費			
	設備点検費				その他の運営費			
	その他維持管理費				支出計			
収入 (千円)	利用料金等				収支(千円)			
	国・県支出金				収支差額			
	その他				備考			
	収入計							

■公共施設カルテの様式(4/4)

6. 過去の改修工事の履歴（複合施設で「複合（従）」の場合は入力不要）

	年度(西暦)	工事内容	費用(千円)
建築系 (一式)	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
設備系	1		
	2		
	3		
	4		
	5		

7. 環境配慮

環境配慮	
------	--

8. 防災

防災	地域防災拠点 の指定	緊急避難場所 の指定	地震	洪水	土砂	避難所の 指定
	その他 設備等の設置					

9. 備考

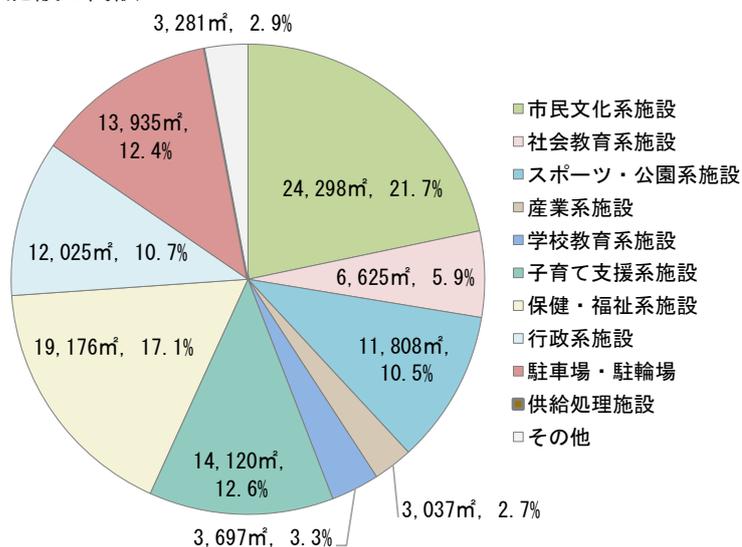
備考	
----	--

① 対象施設の保有量

対象施設の施設数は 88 施設あり、延床面積は合計で 112,9002 m²となっています。

市民文化系施設が最も多く全体の 21.7%(24,298 m²)を占め、次いで保健・福祉系施設 17.1%(19,176 m²)、子育て支援系施設が 12.6%(14,120 m²)となっています。

■対象施設の内訳



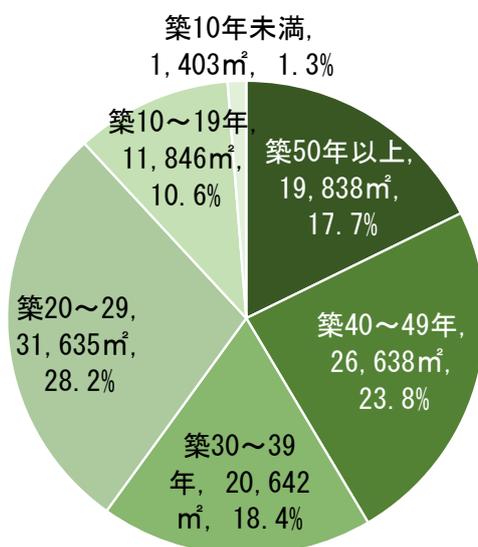
② 築年数

対象施設の築年数について、延床面積で換算した場合の割合をみると、築 30 年以上の施設が 55.9%を占めています。

鉄筋コンクリート造の建物については、築 30 年で劣化する箇所や設備の故障を改善する大規模改修^{用語19}の時期の目安となります。

今後、市の約半数の対象施設で、大規模改修を含めた老朽化への対策が必要となってくるものと考えられます。

■対象施設の老朽化状況



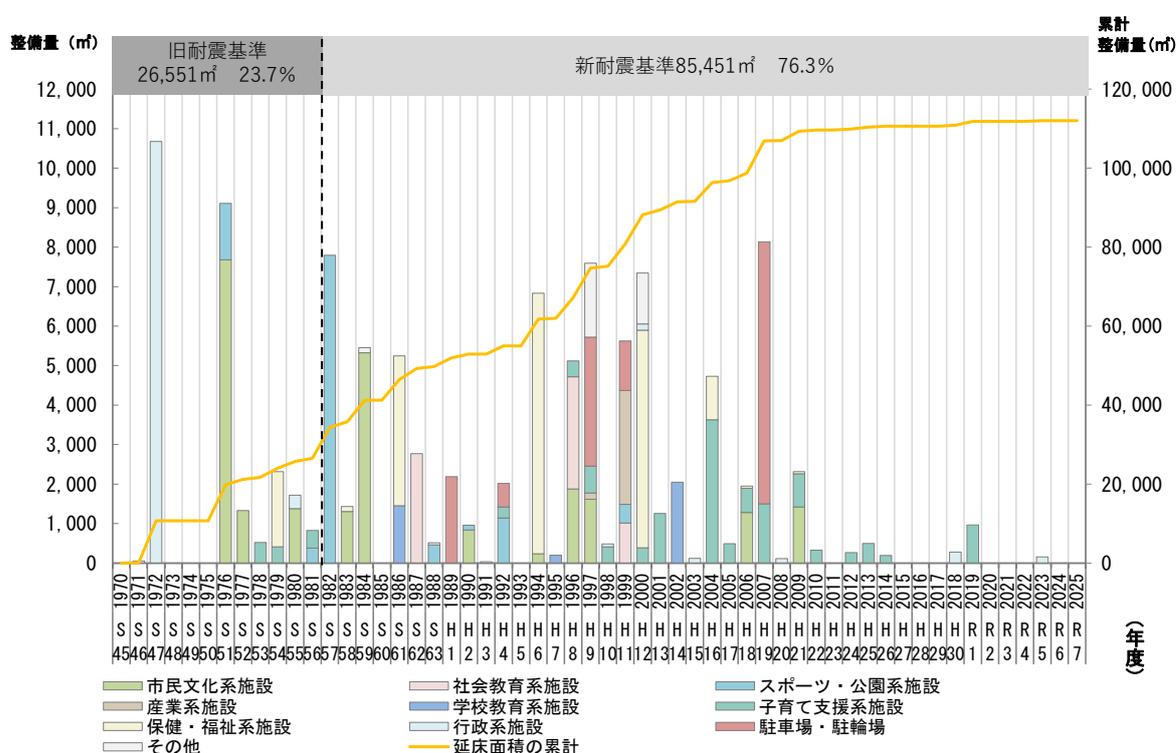
③ 旧耐震基準の建物

昭和 56(1981)年以前に整備された旧耐震基準用語 9 の対象施設は 26,551 m²と全体の 23.7% を占めています。

これらの旧耐震基準の建物については、耐震改修促進法用語 21 に該当する施設や災害時の応急活動の拠点(災害対策本部・避難場所)となる施設を対象に、平成 18(2006)年度に簡易耐震診断用語8を実施しました。その結果に基づき、平成 19(2007)年度に朝霞市有公共施設耐震化計画用語2を策定し、優先的に耐震改修を段階的に実施しています。

現在は、北朝霞保育園、内間木支所で耐震改修、消防団第八分団詰所で耐震診断等の調査が必要となっています。

■ 建築年別延床面積の推移(単位:m²)



④ バリアフリー対応状況

建物の老朽化のほか、ハード面については社会的劣化(技術的な進歩や社会的ニーズの変化等に対し、建物の水準にギャップが生じている状態)という考え方があります。

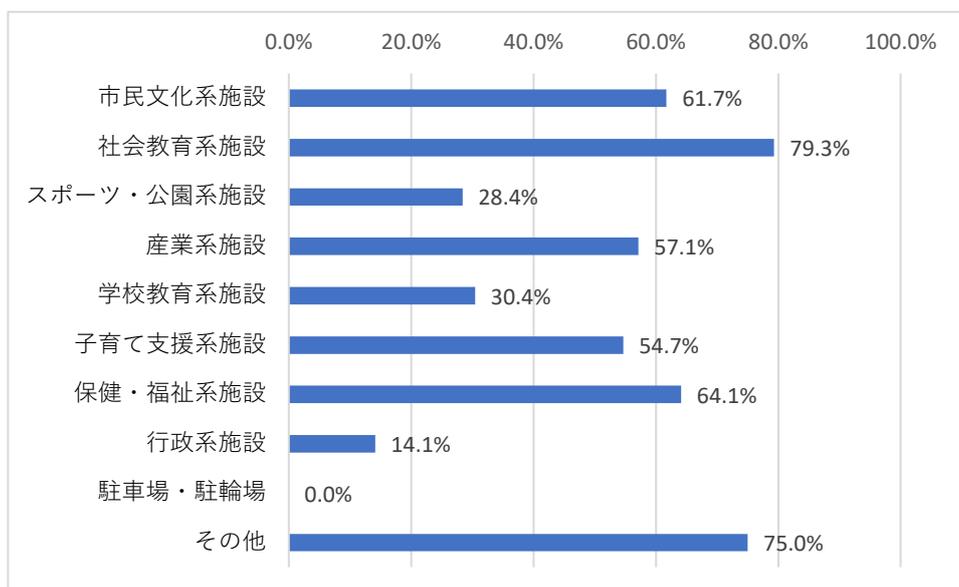
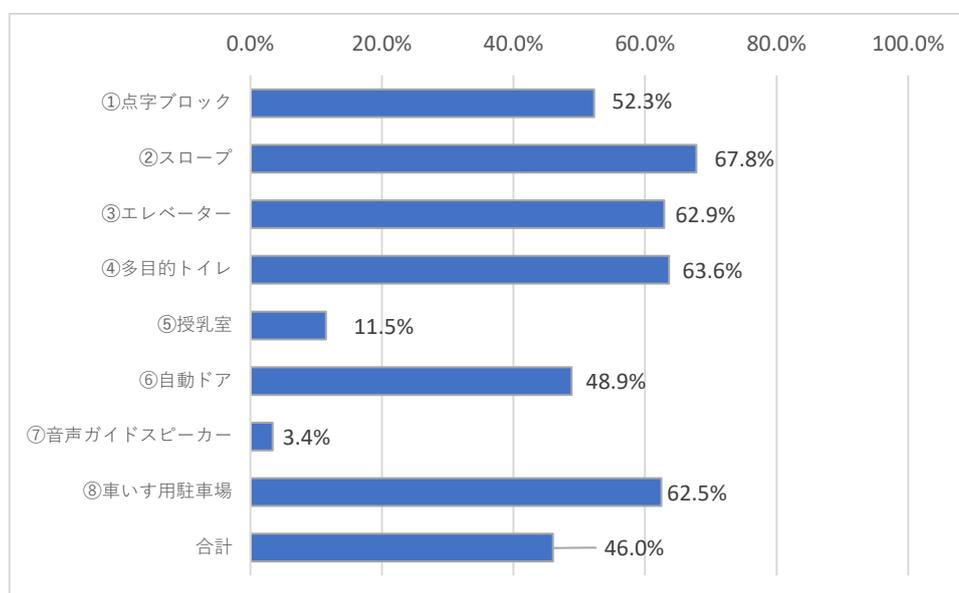
その社会的劣化の視点から、バリアフリー^{用語 29}対応状況について整理を行います。

公共施設カルテのバリアフリーの8項目(点字ブロック、スロープ、エレベーター、多目的トイレ、授乳室、自動ドア、音声ガイド用スピーカー、車いす用駐車場)の確保の割合を見ると、授乳室や音声ガイド用スピーカーを除き、半数程度の施設で確保できています。

施設分類別に各項目の確保の割合を見ると、社会教育系施設が 79.3%と最も高く、保健・福祉系施設が 64.1%、市民文化系施設が 61.7%の順になっていますが、50%を下回る施設も多くなっています。

具体的には、スポーツ・公園系施設、学校教育系施設、行政系施設、駐車場・駐輪場が挙げられます。

■バリアフリー対応状況(上:バリアフリー項目別の充実率、下:施設分類別のバリアフリー充実率)



⑤ 利用状況

(ア)利用者数

対象施設の利用者数について、各施設別の状況を以下に示します。

施設分類別に利用の特性等が異なるため、総じて利用者数にも差がありますが、施設ごとにみると、広域を対象とする施設(市民会館、図書館、総合体育館、健康増進センター(わくわくどーむ)など)の利用者数が比較的多くなっています。

■平成 31(2019)年度から令和5(2023)年度の施設利用状況(5年間の年平均)

	施設名	年間利用者数 (5年間の平均)		施設名	年間利用者数 (5年間の平均)
市民文化系施設	南朝霞公民館	28,357 (人)	子育て支援系施設	北朝霞保育園	104 (人)
	北朝霞公民館	25,669 (人)		栄町保育園	86 (人)
	東朝霞公民館	37,239 (人)		泉水保育園	73 (人)
	内間木公民館	24,375 (人)		さくら保育園	109 (人)
	西朝霞公民館	28,962 (人)		宮戸保育園	100 (人)
	中央公民館	92,606 (人)		溝沼保育園 (溝沼複合施設内に設置)	154 (人)
	コミュニティセンター	83,309 (人)		仲町保育園	98 (人)
	朝志ヶ丘市民センター	10,101 (人)		きたはら児童館	23,273 (人)
	弁財市民センター	19,634 (人)		はまさき児童館 (総合福祉センター内に設置)	17,555 (人)
	宮戸市民センター	29,646 (人)		ねぎしだい児童館 (根岸台市民センター内に設置)	22,066 (人)
	栄町市民センター	17,514 (人)		ひざおり児童館 (膝折市民センター内に設置)	26,108 (人)
	仲町市民センター	20,452 (人)		みぞぬま児童館 (溝沼複合施設内に設置)	42,824 (人)
	溝沼市民センター	27,675 (人)		ほんちょう児童館	34,455 (人)
	根岸台市民センター	26,257 (人)		膝折放課後児童クラブ	100 (人)
	膝折市民センター	29,261 (人)		岡放課後児童クラブ	121 (人)
市民会館(ゆめばれす)	201,230 (人)	浜崎放課後児童クラブ	139 (人)		
社会教育系施設	図書館	149,177 (人)	本町放課後児童クラブ	107 (人)	
	図書館北朝霞分館 (産業文化センター内に設置)	63,686 (人)	栄町放課後児童クラブ	132 (人)	
	博物館	25,824 (人)	根岸台放課後児童クラブ	68 (人)	
	埋蔵文化財センター	25 (人)	朝志ヶ丘放課後児童クラブ	154 (人)	
スポーツ・公園系施設	総合体育館	169,243 (人)	溝沼放課後児童クラブ	130 (人)	
	武道館	28,676 (人)	幸町放課後児童クラブ	95 (人)	
	溝沼子どもプール	17,140 (人)	泉水放課後児童クラブ	137 (人)	
	滝の根テニスコート	24,318 (人)	保健・福祉系施設	健康増進センター (わくわくどーむ)	206,102 (人)
	青葉台公園管理事務所・フィールド ハウス	76,612 (人)		特別養護老人ホーム (朝光苑)	33,451 (人)
	内間木公園弓道場	10,354 (人)		総合福祉センター (はあとびあ)	5,450 (人)
	朝霞中央公園陸上競技場	137,659 (人)			
	朝霞中央公園野球場	83,065 (人)			
	水久保公園管理施設	164 (人)			
学校教育施設	浜崎学校給食センター	3,984 (食数)			
	溝沼学校給食センター	4,327 (食数)			
	子ども相談室	1,276 (人)			

	施設名	年間利用者数 (5年間の平均)		施設名	年間利用者数 (5年間の平均)				
産業系 施設	産業文化センター	93,446 (人)	保健・ 福祉系施設	栄町高齢者地域交流室	1,937 (人)				
	浜崎農業交流センター	26,118 (人)		浜崎老人福祉センター (総合福祉センター内に設置)	34,685 (人)				
行政系 施設	市役所	183,852 (人)		溝沼老人福祉センター (溝沼複合施設内に設置)	45,273 (人)				
	内間木支所	5,681 (人)		シルバーサロン (根岸台市民センター内)	434 (人)				
	消防団第一分団詰所	14 (人)		シルバーサロン (弁財市民センター内)	429 (人)				
	消防団第二分団詰所	16 (人)		シルバーサロン (膝折市民センター内)	942 (人)				
	消防団第三分団詰所	15 (人)		保健センター	7,600 (人)				
	消防団第四分団詰所	15 (人)		その他	朝霞市斎場	738 (人)			
	消防団本部詰所兼第五分団詰所	25 (人)					リサイクルプラザ (エコネットあさか)	87,705 (人)	
	消防団第六分団詰所	14 (人)			駐車場・駐輪場	朝霞台駅南口地下自転車駐車場	88,594 (人)		
	消防団第七分団詰所	15 (人)						朝霞台駅南口第1自転車駐車場	88,594 (人)
	消防団第八分団詰所	15 (人)						北朝霞駅東口地下自転車駐車場	131,689 (人)
		朝霞駅東口立体自転車駐輪場	23,796 (人)						
		朝霞駅南口原動機付自転車駐車場	9,693 (人)						
		朝霞駅東口地下自転車駐車場	42,159 (人)						
		朝霞駅南口地下自転車駐車場	165,999 (人)						

※保育園、放課後児童クラブ、消防団詰所は定員人数を記載しています。

(イ)稼働率^{用語7}

対象施設のなかには、市民に会議室や集会室等の貸室の提供を行う施設があります。

これらの施設について、年間の室稼働率^{用語16}及び定員稼働率^{用語27}を算出しました。

室稼働率について、対象施設の多くを占める市民文化系施設を見ると、50%以上の施設が多く、比較的多く利用されており、市民にとってもニーズのある施設であると考えられます。

また、室稼働率を諸室別に見ても50%を超える諸室が多くなっています。一部、室稼働率が20%を下回る諸室もありますが、市民会館の宴会場など、使われ方が特殊な諸室です。

一方で、定員稼働率は30%以下となっており、全体的に低い状況にあります。また諸室別の定員稼働率についても1~38%となっており、諸室の利用定員に対して少ない人数で諸室が利用されていると考えられます。

■室稼働率(令和5(2023)年度)

施設名	諸室名							施設稼働率
	室稼働率							
南朝霞公民館	講堂	会議室	実習室	和室	視聴覚室			54%
	91%	56%	33%	13%	75%			
北朝霞公民館	講堂	会議室	実習室	談話室	和室			43%
	93%	52%	31%	20%	19%			
東朝霞公民館	第1会議室	第2会議室	和室	視聴覚室	児童室	体育室		66%
	56%	47%	33%	78%	88%	96%		
内間木公民館	会議室	実習室	和室	視聴覚室	体育室			54%
	43%	40%	34%	65%	86%			
西朝霞公民館	会議室	実習室	和室	視聴覚室	体育室			58%
	57%	31%	35%	68%	98%			
中央公民館	会議室	実習室	第1和室	第2和室	第1学習室	第2学習室	児童室	74%
	81%	33%	73%	72%	78%	72%	74%	
	美術工芸室	音楽室	レクリエーションホール					
	74%	92%	95%					
コミュニティセンター	ホール	第1集会室	第2集会室	展示ギャラリー				47%
	25%	51%	52%	58%				
朝志ヶ丘市民センター	第1会議室	第2会議室	第1和室	第2和室				37%
	48%	52%	26%	20%				
弁財市民センター	ホール	会議室	和室					71%
	77%	82%	55%					
宮戸市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	第1和室	第2和室			66%
	78%	77%	83%	48%	42%			
栄町市民センター	ホール	会議室	第1和室	第2和室				46%
	62%	51%	52%	17%				
仲町市民センター	ホール	会議室	和室					69%
	68%	80%	58%					
溝沼市民センター	ホール	会議室	第1和室	第2和室				68%
	81%	75%	60%	57%				
根岸台市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	工作室				55%
	71%	56%	64%	30%				
膝折市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	多目的スタジオ				81%
	85%	84%	82%	71%				
市民会館(ゆめばれす)	ホール	リハーサル室(1)・(2)	201	301	302	303	304	44%
	70%	70%	54%	43%	44%	46%	42%	
	梅	高砂	松	竹	501	リハーサル室(3)		
	45%	25%	25%	9%	45%	52%		

施設名	諸室名							全体稼働率
	室稼働率							
産業文化センター	多目的ホールステ	会議室	研修室(1)	研修室(2)	研修室(3)	ギャラリー		65%
	66%	67%	62%	61%	65%	66%		
朝霞市斎場	第一式場	第二式場	和室(けやぎ)	和室(いちよう)	和室(ふじ)	和室(きく)	和室(ゆり)	21%
	34%	71%	16%	6%	11%	14%	1%	
	和室(きぎょう)	安置室						
リサイクルプラザ(エコネットあさか)	活動室(小)	活動室(大)	リサイクル工房	リフォーム工房				37%
	100%	18%	28%					

■定員稼働率(令和5(2023)年度)

施設名	諸室名							施設稼働率
	定員稼働率							
南朝霞公民館	講堂	会議室	実習室	和室	視聴覚室			15%
	18%	15%	14%	8%	22%			
北朝霞公民館	講堂	会議室	実習室	談話室	和室			18%
	24%	27%	14%	11%	12%			
東朝霞公民館	第1会議室	第2会議室	和室	視聴覚室	児童室	体育室		17%
	21%	15%	12%	22%	-	14%		
内間木公民館	会議室	実習室	和室	視聴覚室	体育室			13%
	9%	10%	16%	20%	11%			
西朝霞公民館	会議室	実習室	和室	視聴覚室	体育室			15%
	15%	12%	23%	14%	13%			
中央公民館	会議室	実習室	第1和室	第2和室	第1学習室	第2学習室	児童室	56%
	83%	47%	80%	80%	45%	43%	-	
	美術工芸室	音楽室	レクリエーションホール					
コミュニティセンター	ホール	第1集会室	第2集会室	展示ギャラリー				57%
	18%	77%	76%	-				
朝志ヶ丘市民センター	第1会議室	第2会議室	第1和室	第2和室				17%
	21%	23%	13%	11%				
弁財市民センター	ホール	会議室	和室					15%
	14%	15%	15%					
宮戸市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	第1和室	第2和室			19%
	11%	21%	25%	20%	17%			
栄町市民センター	ホール	会議室	第1和室	第2和室				13%
	8%	8%	29%	7%				
仲町市民センター	ホール	会議室	和室					15%
	9%	20%	16%					
溝沼市民センター	ホール	会議室	第1和室	第2和室				21%
	12%	20%	28%	26%				
根岸台市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	工作室				13%
	14%	15%	17%	8%				
膝折市民センター	ホール	第1会議室	第2会議室	多目的スタジオ				15%
	15%	18%	19%	8%				
市民会館(ゆめばれす)	ホール	201	301	302	303	304	501	18%
	12%	30%	24%	25%	27%	25%	14%	
	梅	リハーサル室(1)・(2)	リハーサル室(3)	高砂	松	竹		
産業文化センター	多目的ホールステ	会議室	研修室(1)	研修室(2)	研修室(3)	ギャラリー		30%
	17%	38%	34%	30%	31%	-		

朝霞市斎場及びリサイクルプラザは、年間の利用人数が不明なため非算出。その他掲載諸室の-も同様

⑥ コストの状況

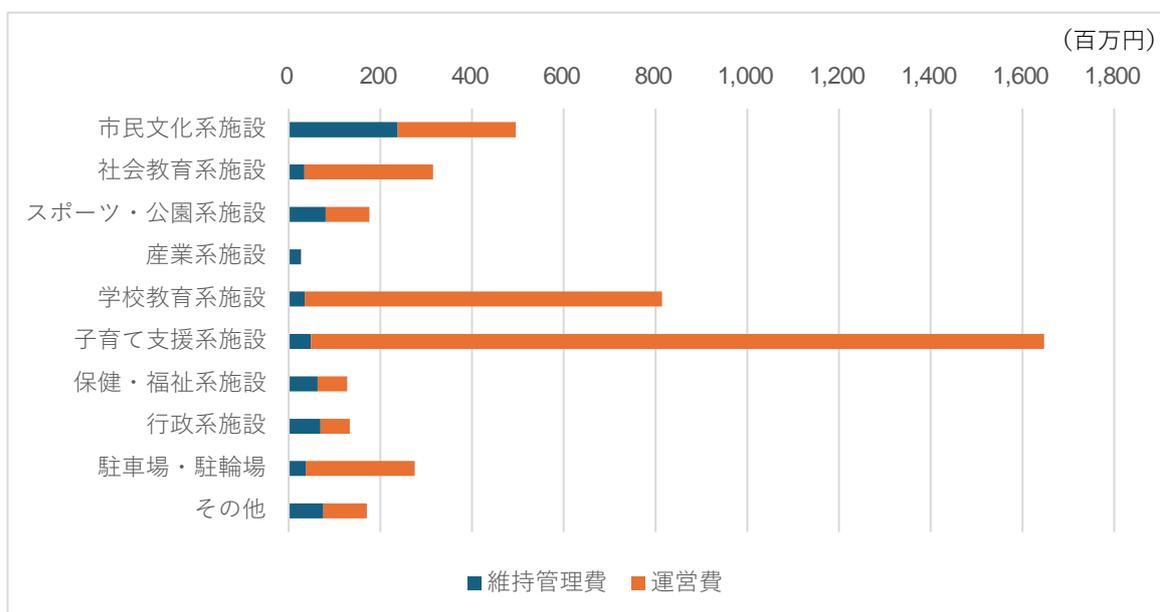
(ア) 維持管理運営費の状況

公共施設を維持するために必要な費用として、維持管理運営費(維持管理費^{用語3}、運営費^{用語5})があります。施設分類によって、施設数や保有する設備、利用方法等は異なり、総じて維持管理運営費にも違いが生まれますが、あくまで参考として、対象施設における施設分類別の維持管理運営費を示します。

維持管理運営費の総額は年間 41.8 億円となっており、施設分類別には駐車場・駐輪場、子育て支援系施設の維持管理運営費が大きくなっています。

小中学校を除く一般施設(建物系)の維持管理運営費の内訳としては、運営費が 80%以上を占めており、特に人件費が最も多くなっています。

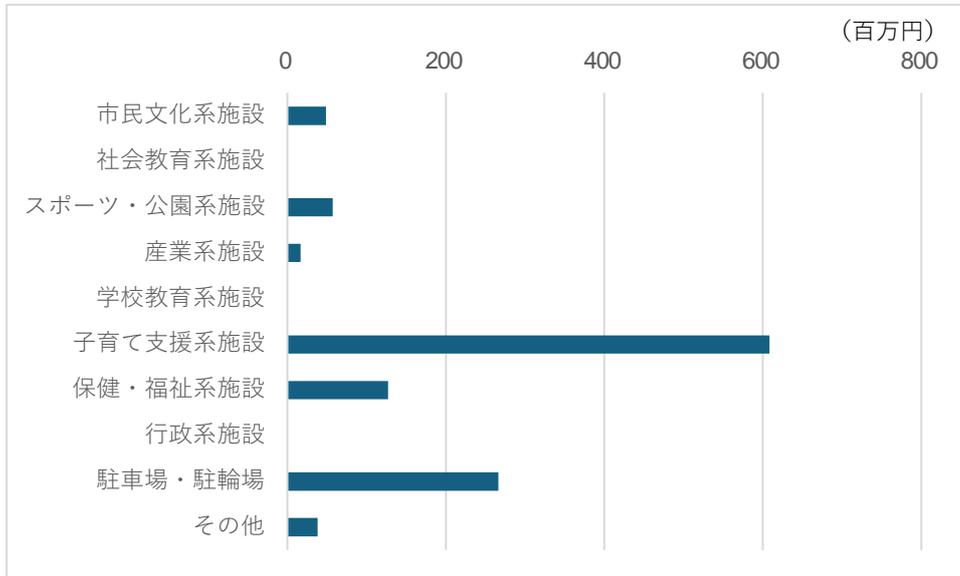
■施設分類別の維持管理運営に係る経費(令和5(2023)年度)



(イ)歳入の状況

公共施設については、利用料金等の歳入があります。維持管理運営費と同じく、施設分類によって、施設数や保有する設備、利用方法等は異なりますが、総額は年間11.6億円(令和5(2023)年度)となっています。

■施設分類別の収入(令和5(2023)年度)



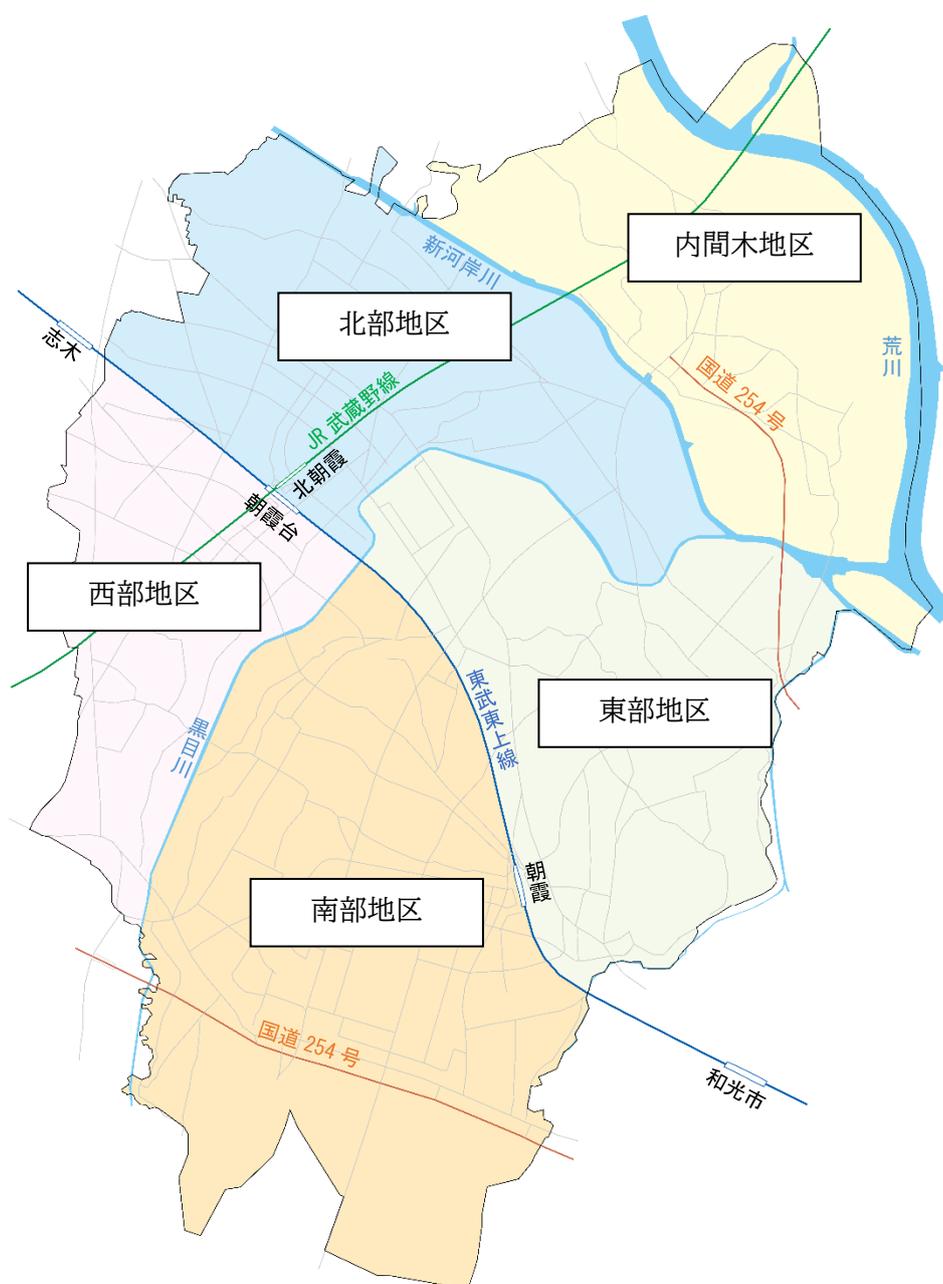
⑦ 施設の配置状況

市全体では、当面は人口が微増しながら高齢化が進展していくと見込まれますが、地区ごとにみると傾向が異なります。また、施設の配置状況も異なります。

そのため、人口動向や施設の配置状況等について、地区別に整理を行います。

市内は新河岸川、黒目川と東武東上線によって大きく 5 つに分けることができることから、これを地区区分とします。

■市域と地区区分



出典：朝霞市公共施設等総合管理計画

レーダーチャートの見方

地区面積

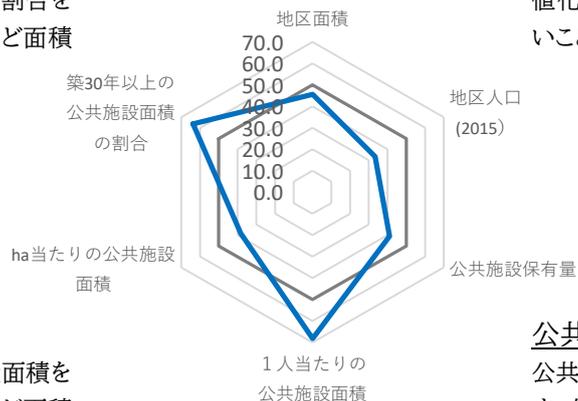
地区面積を偏差値化した指標です。外側ほど面積が大きいことを示します。

地区人口(2015)

平成27(2015)年の地区人口を偏差値化した指標です。外側ほど人口が多いことを示します。

築30年以上の公共施設面積の割合

築30年以上の公共施設面積の割合を偏差値化した指標です。外側ほど面積割合が大きいことを示します。



ha当たりの公共施設面積

地区面積1ha当たりの公共施設面積を偏差値化した指標です。外側ほど面積割合が大きいことを示します。

公共施設保有量

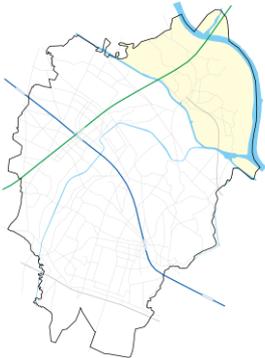
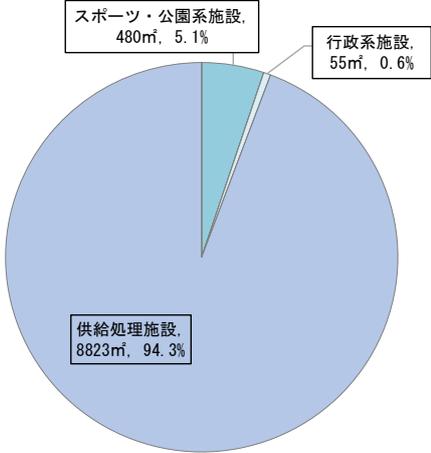
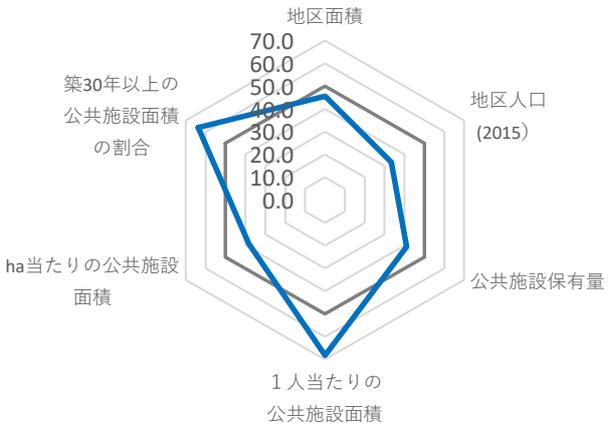
公共施設保有量を偏差値化した指標です。外側ほど保有量が多いことを示します。

1人当たりの公共施設面積

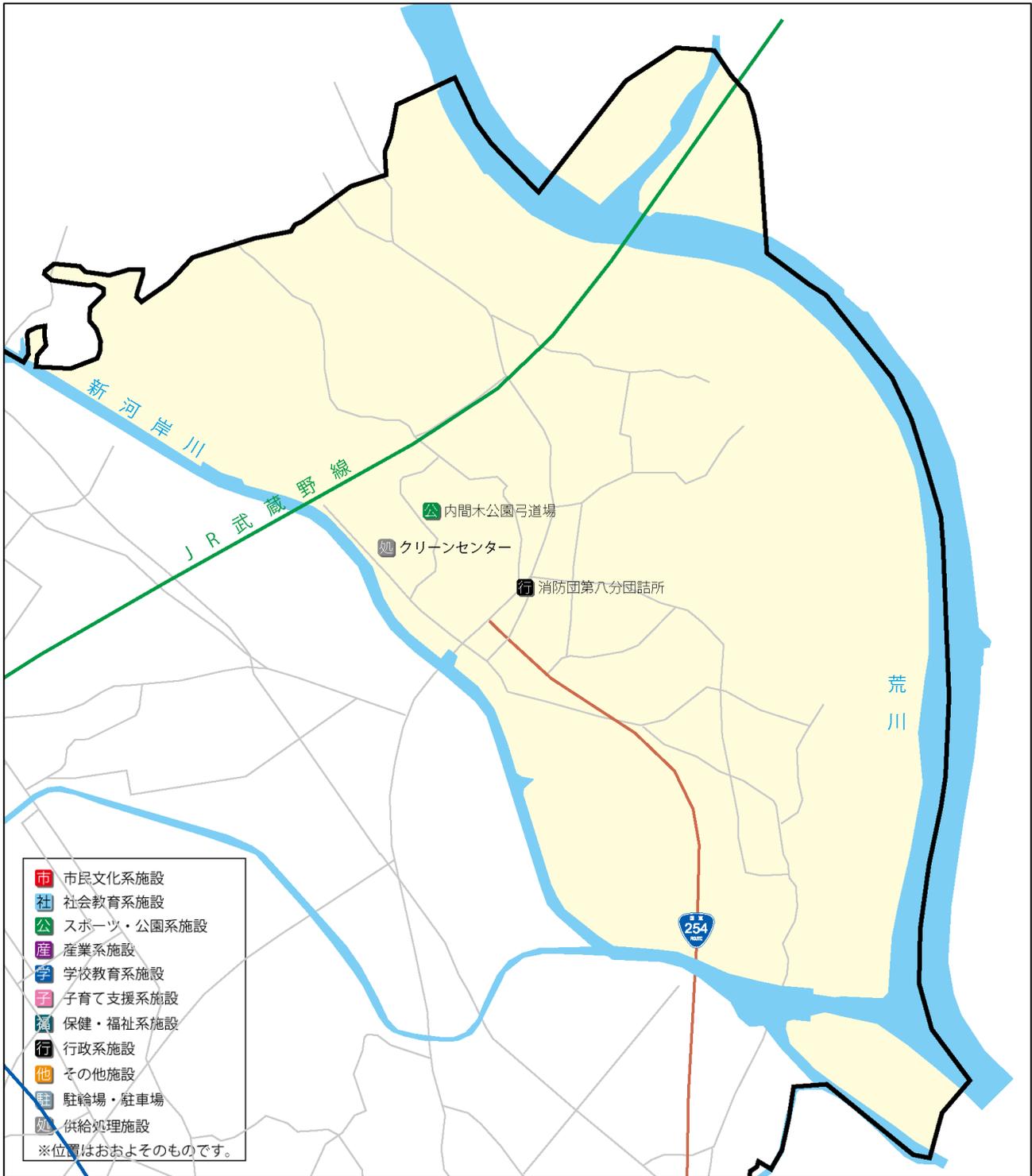
1人当たりの公共施設面積を偏差値化した指標です。外側ほど面積が大きいことを示します。

※建物系の公共施設全体の配置等を分析するため、本項では、小中学校、クリーンセンターも含めています。

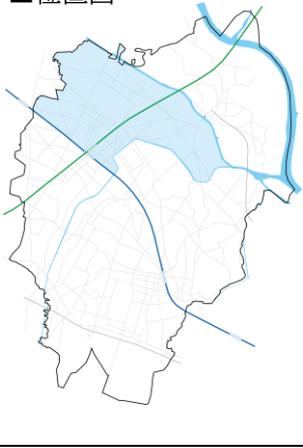
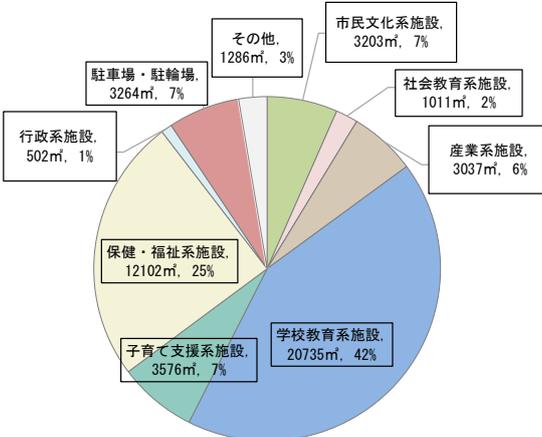
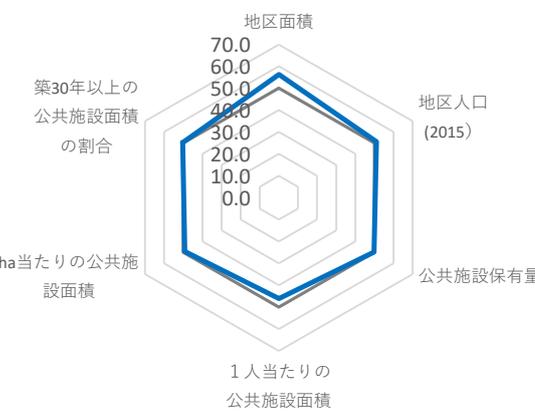
(ア)内間木地区

項目	内容																															
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の北東側に位置し、地区の北東側を荒川、南西側を新河岸川に挟まれた荒川低地で構成されています。地区の北側は志木市に、また、荒川を挟んだ東側はさいたま市と戸田市に接しています。 	<p>■位置図</p> 																														
人口と施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口は平成27(2015)年時点で、1,828人(年少人口261人、生産年齢人口1,220人、高齢人口347人)となっており、他地区と比較して、人口は少ない状況です。 ・公共施設の総面積は約9,358㎡で、クリーンセンター、内間木公園弓道場、消防団第八分団詰所のみです。 ・地区人口1人当たりの公共施設面積は5.11㎡/人で、他の地区に比べて大きく上回りますが、面積の内訳として94.3%がクリーンセンターとなっています。 ・これを要因として、地区内の築30年以上の公共施設の割合も高い状況にあります。 																															
公共施設に係る現状	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="365 1014 783 1541"> <p>■地区の公共施設保有量</p>  <table border="1"> <caption>地区の公共施設保有量</caption> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供給処理施設</td> <td>8823</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・公園系施設</td> <td>480</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>55</td> <td>0.6%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="802 1014 1410 1514"> <p>■内間木地区のレーダーチャート</p>  <table border="1"> <caption>内間木地区のレーダーチャート</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内間木地区</th> <th>地区平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区面積</td> <td>~65.0</td> <td>~50.0</td> </tr> <tr> <td>地区人口 (2015)</td> <td>~1.8</td> <td>~10.0</td> </tr> <tr> <td>公共施設保有量</td> <td>~9.4</td> <td>~10.0</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの公共施設面積</td> <td>~5.1</td> <td>~10.0</td> </tr> <tr> <td>築30年以上の公共施設面積の割合</td> <td>~45.0</td> <td>~10.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)	供給処理施設	8823	94.3%	スポーツ・公園系施設	480	5.1%	行政系施設	55	0.6%	指標	内間木地区	地区平均	地区面積	~65.0	~50.0	地区人口 (2015)	~1.8	~10.0	公共施設保有量	~9.4	~10.0	1人当たりの公共施設面積	~5.1	~10.0	築30年以上の公共施設面積の割合	~45.0	~10.0
施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)																														
供給処理施設	8823	94.3%																														
スポーツ・公園系施設	480	5.1%																														
行政系施設	55	0.6%																														
指標	内間木地区	地区平均																														
地区面積	~65.0	~50.0																														
地区人口 (2015)	~1.8	~10.0																														
公共施設保有量	~9.4	~10.0																														
1人当たりの公共施設面積	~5.1	~10.0																														
築30年以上の公共施設面積の割合	~45.0	~10.0																														

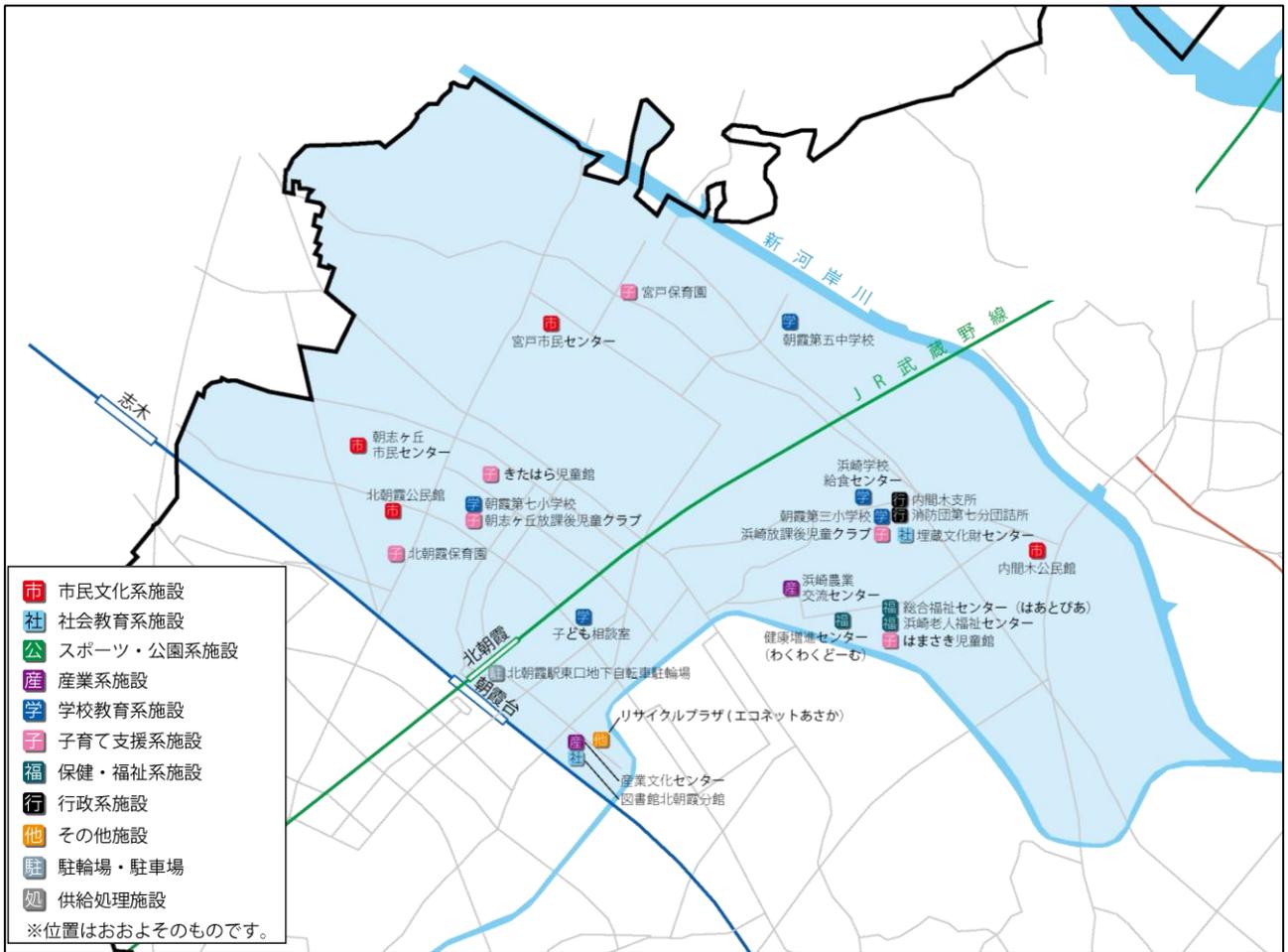
■内間木地区 公共施設配置図



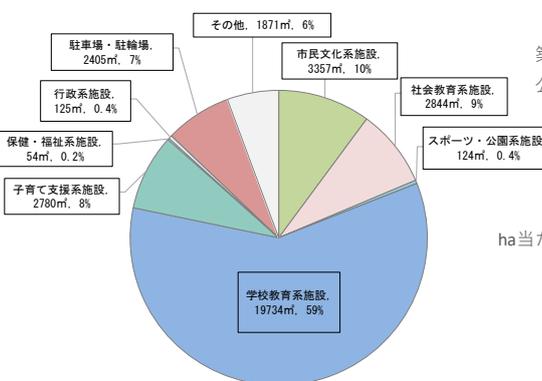
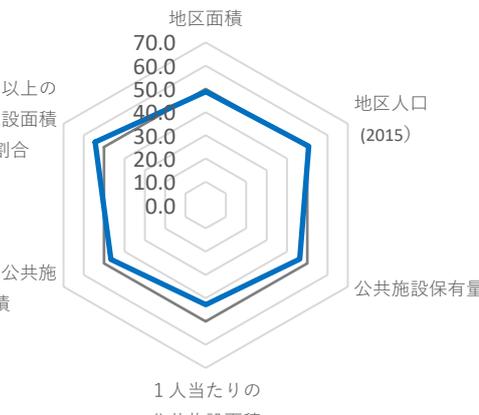
(イ)北部地区

項目	内容																																													
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の北側に位置し、地区の北側を新河岸川が南側を黒目川が流れています。地区の北西側は志木市と接しています。 ・地区には主要な交通結節点として、北朝霞駅、朝霞台駅が立地しており、交通利便性も高い地区です。 	<p>■位置図</p> 																																												
人口と施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口は平成27(2015)年時点で、28,537人(年少人口4,169人、生産年齢人口18,874人、高齢人口5,494人)となっており、他地区と比較して、平均的な人口です。 ・公共施設の総面積は約48,715㎡で市全体の19.6%を占め、施設数は26施設あります。市の中で南部地区に次いで2番目に地区内の延床面積が多い地区です。 ・特に、学校教育系施設が42%と最も大きく、保健・福祉系も25%と多くなっています。 ・築後30年以上の施設は64.4%で、多くの施設で大規模改修が必要な時期となっています。 ・地区人口1人当たりの公共施設面積は1.71㎡/人で、市の平均を上回っています。 ・地区内の公共施設の配置は、北朝霞駅北側の住宅地に市民センターや保育園等の施設があるほか、黒目川沿いに総合福祉センター、産業文化センター等の大規模な施設があります。 																																													
公共施設に係る現状	<p>■地区の公共施設保有量</p>  <table border="1"> <caption>地区の公共施設保有量</caption> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>20735</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉系施設</td> <td>12102</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>産業系施設</td> <td>3037</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>1011</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>市民文化系施設</td> <td>3203</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>子育て支援系施設</td> <td>3576</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1286</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>駐車場・駐輪場</td> <td>3264</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>502</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)	学校教育系施設	20735	42%	保健・福祉系施設	12102	25%	産業系施設	3037	6%	社会教育系施設	1011	2%	市民文化系施設	3203	7%	子育て支援系施設	3576	7%	その他	1286	3%	駐車場・駐輪場	3264	7%	行政系施設	502	1%	<p>■北部地区のレーダーチャート</p>  <table border="1"> <caption>北部地区のレーダーチャート (2015)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区面積</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>地区人口</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>公共施設保有量</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの公共施設面積</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>ha当たりの公共施設面積</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>築30年以上の公共施設面積の割合</td> <td>64.4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	スコア	地区面積	70.0	地区人口	40.0	公共施設保有量	50.0	1人当たりの公共施設面積	17.1	ha当たりの公共施設面積	17.1	築30年以上の公共施設面積の割合	64.4
施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)																																												
学校教育系施設	20735	42%																																												
保健・福祉系施設	12102	25%																																												
産業系施設	3037	6%																																												
社会教育系施設	1011	2%																																												
市民文化系施設	3203	7%																																												
子育て支援系施設	3576	7%																																												
その他	1286	3%																																												
駐車場・駐輪場	3264	7%																																												
行政系施設	502	1%																																												
指標	スコア																																													
地区面積	70.0																																													
地区人口	40.0																																													
公共施設保有量	50.0																																													
1人当たりの公共施設面積	17.1																																													
ha当たりの公共施設面積	17.1																																													
築30年以上の公共施設面積の割合	64.4																																													

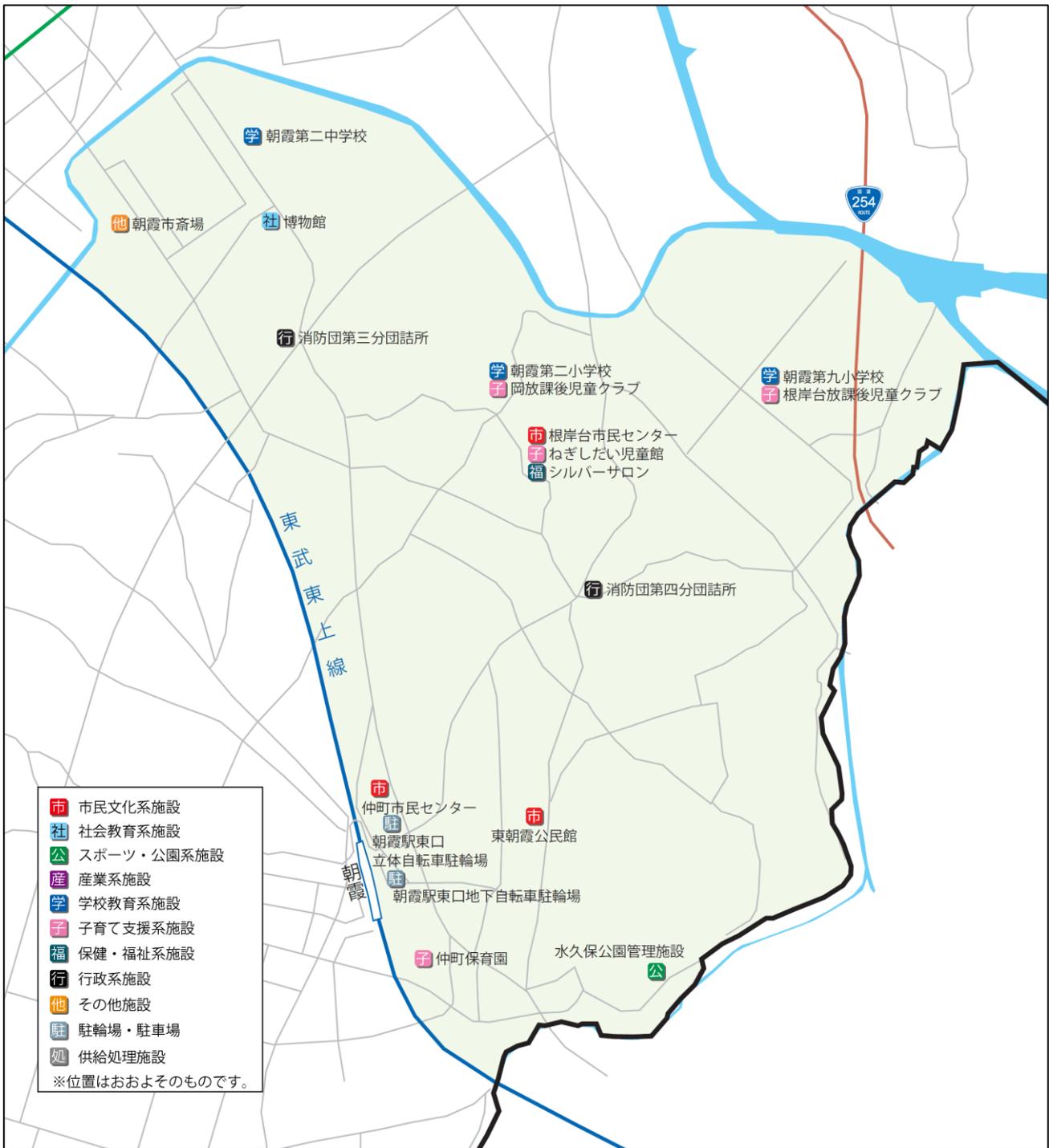
■北部地区 公共施設配置図



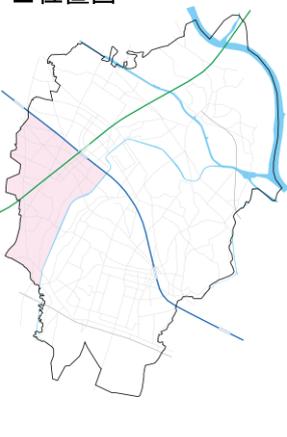
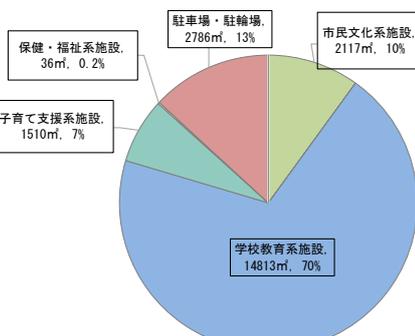
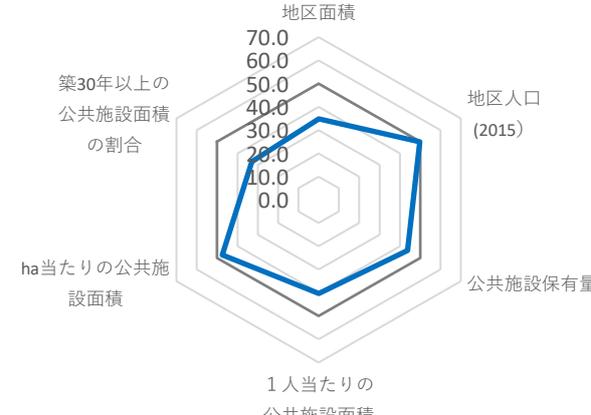
(ウ) 東部地区

項目	内容
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の東側に位置し、地区北側を黒目川が流れ、東端で新河岸川と合流しています。地形は川沿いの荒川低地と内陸部の武蔵野台地となっており、地区の東南側は和光市に接しています。 ・地区には主要な交通結節点として、朝霞駅が立地しています。
人口と施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口は平成27(2015)年時点で、28,062人(年少人口3,886人、生産年齢人口19,482人、高齢人口4,694人)となっています。 ・公共施設の総面積は、約33,295㎡で市全体の13.4%を占め、施設数は18施設あります。 ・特に、学校教育系施設が59%で最も大きく、市民文化系施設が10%、社会教育系施設が9%と続きます。 ・築後30年以上の施設は73.7%で、他の地区と比較しても、大規模改修が必要な施設が多くあります。 ・地区人口1人当たりの公共施設面積は1.19㎡/人で、市の平均を下回っています。 ・地区内の公共施設の配置は、朝霞駅東側に市民センターや公民館等の施設があります。
公共施設に係る現状	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="343 987 638 1019"> <p>■ 地区の公共施設保有量</p>  </div> <div data-bbox="957 987 1332 1019"> <p>■ 東部地区のレーダーチャート</p>  </div> </div>

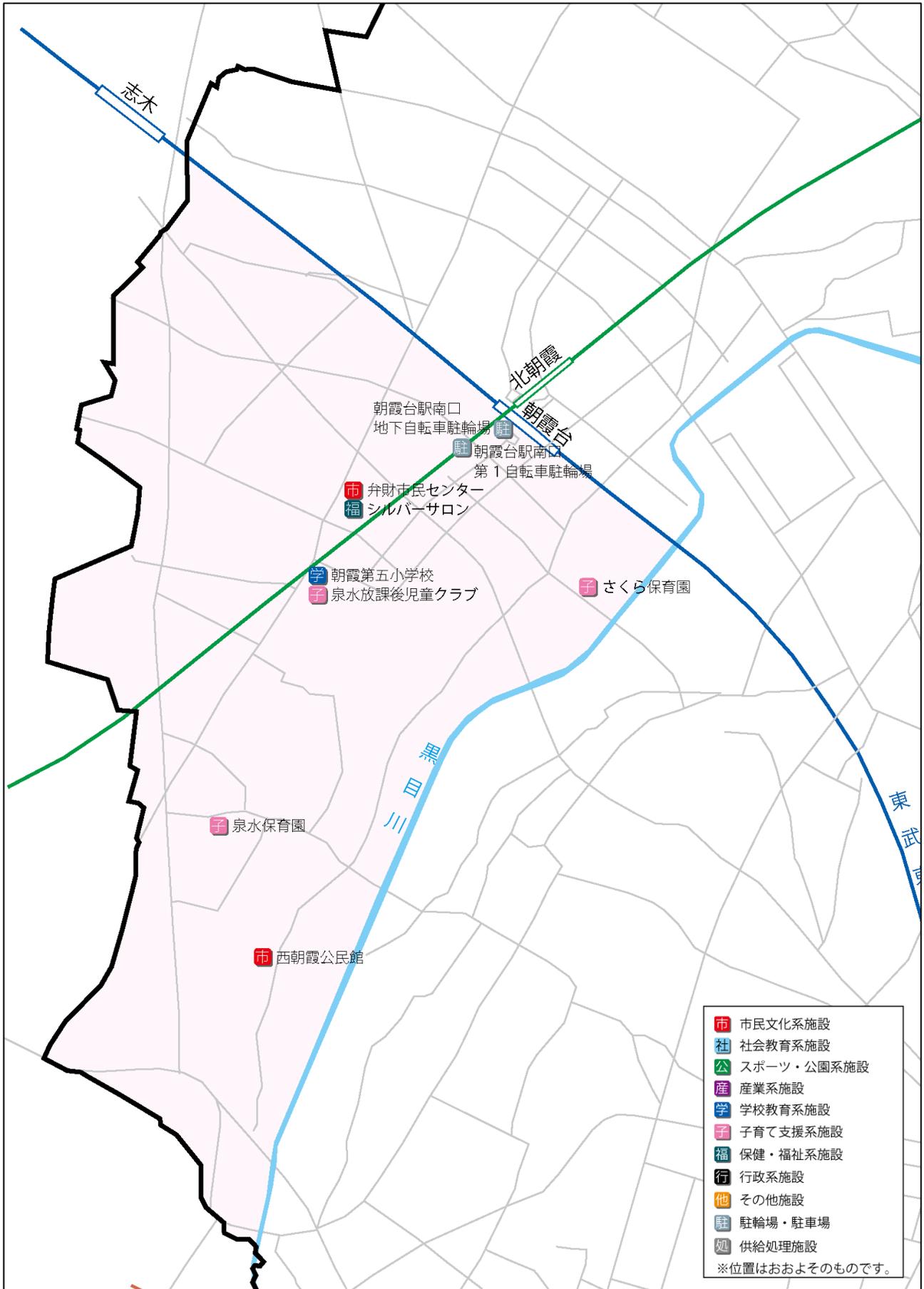
■東部地区 公共施設配置図



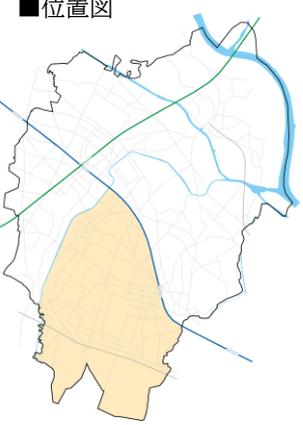
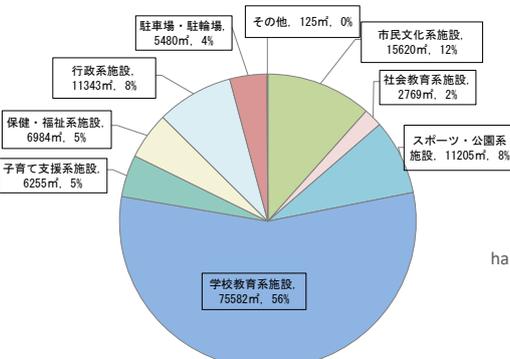
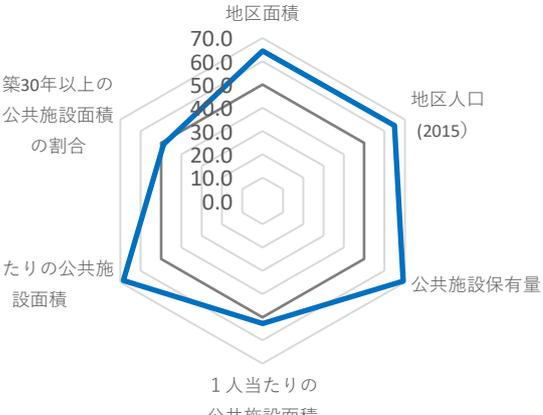
(エ)西部地区

項目	内容																			
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の西側に位置し、地区の東側を黒目川が流れています。地区の西側は新座市と隣接しています。 ・地区には主要な交通結節点として、朝霞台駅が立地しており、交通利便性も高い地区です。 	<p>■位置図</p> 																		
人口と施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口は平成27(2015)年時点で、26,622人(年少人口3,748人、生産年齢人口17,667人、高齢人口5,207人)となっています。 ・公共施設の総面積は、約21,262㎡で市全体の8.6%を占め、施設数は9施設あります。 ・特に、学校教育系施設が70%で最も大きく、駐車場・駐輪場が13%、市民文化系施設が10%と続いています。 ・築後30年以上の施設は25.3%と、他の地区と比較しても、比較的新しい施設が多くあります。 ・地区人口1人当たりの公共施設面積は0.80㎡/人で、市の平均を下回っています。 ・地区内の公共施設の配置は、朝霞台駅の近くに自転車駐輪場や市民センター等の施設があります。 																			
公共施設に係る現状	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="319 996 766 1411"> <p>■地区の公共施設保有量</p>  <table border="1"> <caption>地区の公共施設保有量</caption> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>14813</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>駐車場・駐輪場</td> <td>2786</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>市民文化系施設</td> <td>2117</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>子育て支援系施設</td> <td>1510</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉系施設</td> <td>36</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="798 996 1420 1478"> <p>■西部地区のレーダーチャート</p>  <p>地区面積</p> <p>地区人口 (2015)</p> <p>公共施設保有量</p> <p>1人当たりの公共施設面積</p> <p>ha当たりの公共施設面積</p> <p>築30年以上の公共施設面積の割合</p> </div> </div>		施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)	学校教育系施設	14813	70%	駐車場・駐輪場	2786	13%	市民文化系施設	2117	10%	子育て支援系施設	1510	7%	保健・福祉系施設	36	0.2%
施設種別	面積 (㎡)	割合 (%)																		
学校教育系施設	14813	70%																		
駐車場・駐輪場	2786	13%																		
市民文化系施設	2117	10%																		
子育て支援系施設	1510	7%																		
保健・福祉系施設	36	0.2%																		

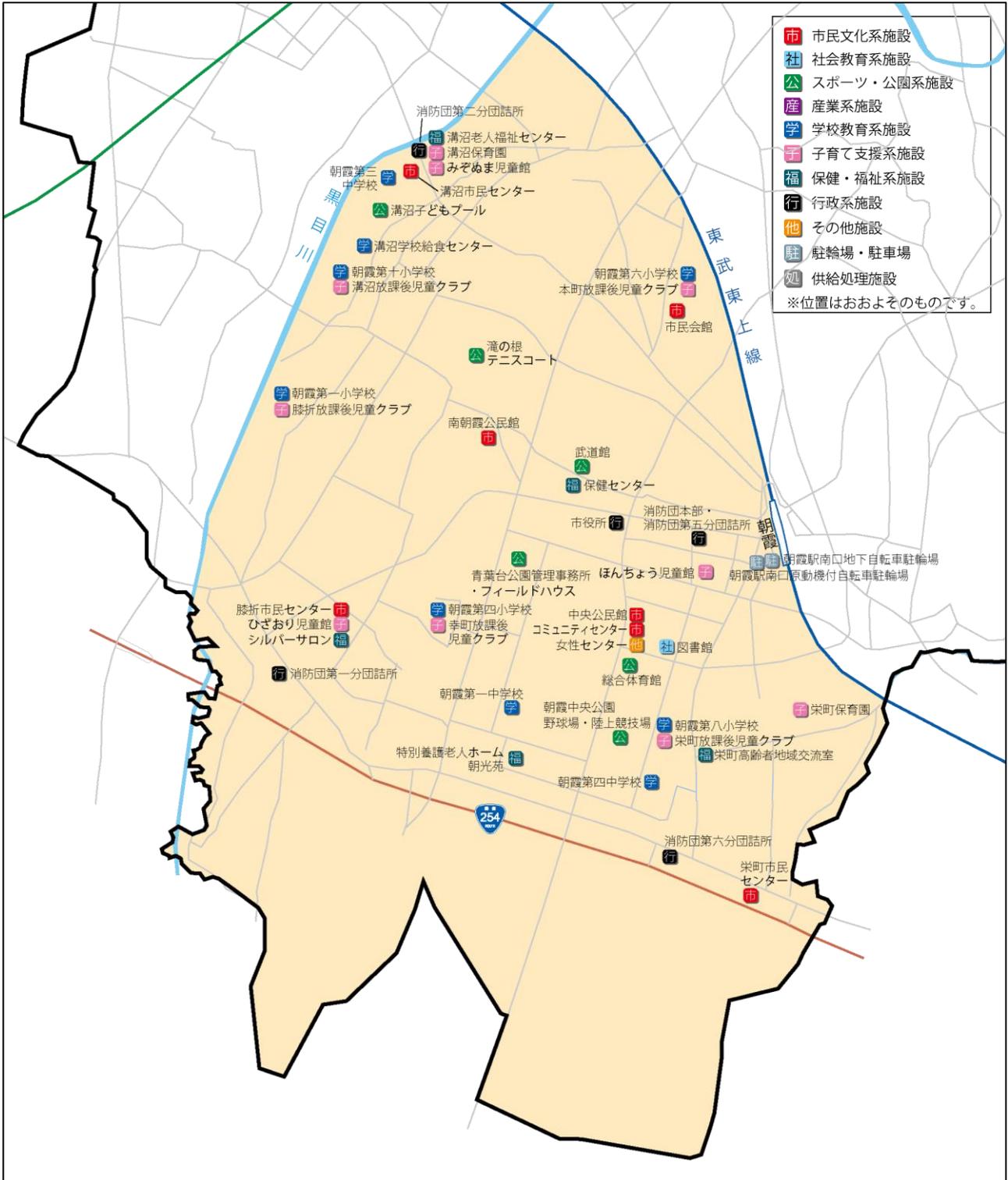
■西部地区 公共施設配置図



(オ)南部地区

項目	内容																															
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の南側に位置し、地区の西側から北部を黒目川が流れています。地区の西側は新座市、南東側は和光市、南側は東京都練馬区に接しています。 ・地区には主要な交通結節点として、朝霞駅が立地しています。 	<p>■位置図</p> 																														
人口と施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口は平成27(2015)年時点で、49,345人(年少人口7,187人、生産年齢人口33,361人、高齢人口8,798人)と、市内で最も人口の多い地区となっています。 ・公共施設の総面積は、約135,363㎡で市全体の54.6%と半数以上を占め、施設数は48施設あります。 ・特に、学校教育系施設が56%で最も大きく、市民文化系施設が12%、スポーツ・公園系施設、行政系施設が8%と続きます。 ・築後30年以上の施設は61.1%で、他の地区と比較しても、大規模改修が必要な施設が多くあります。 ・地区人口1人当たりの公共施設面積は2.74㎡/人で、市の平均を大きく上回っています。 ・地区内の配置は川越街道より北側に集中しており、市民文化系施設やスポーツ公園系施設等の施設があります。 																															
公共施設に係る現状	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="335 1019 861 1478"> <p>■地区の公共施設保有量</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>面積(㎡)</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>75682</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>市民文化系施設</td> <td>15620</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・公園系施設</td> <td>11205</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>11343</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>2769</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>子育て支援系施設</td> <td>6255</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉系施設</td> <td>6984</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>駐車場・駐輪場</td> <td>5480</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>125</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="861 1019 1420 1523"> <p>■南部地区のレーダーチャート</p>  <p>地区面積</p> <p>地区人口 (2015)</p> <p>築30年以上の公共施設面積の割合</p> <p>ha当たりの公共施設面積</p> <p>公共施設保有量</p> <p>1人当たりの公共施設面積</p> </div> </div>		施設種別	面積(㎡)	割合	学校教育系施設	75682	56%	市民文化系施設	15620	12%	スポーツ・公園系施設	11205	8%	行政系施設	11343	8%	社会教育系施設	2769	2%	子育て支援系施設	6255	5%	保健・福祉系施設	6984	5%	駐車場・駐輪場	5480	4%	その他	125	0%
施設種別	面積(㎡)	割合																														
学校教育系施設	75682	56%																														
市民文化系施設	15620	12%																														
スポーツ・公園系施設	11205	8%																														
行政系施設	11343	8%																														
社会教育系施設	2769	2%																														
子育て支援系施設	6255	5%																														
保健・福祉系施設	6984	5%																														
駐車場・駐輪場	5480	4%																														
その他	125	0%																														

■南部地区 公共施設配置図



(2) 定期点検結果を用いた公共施設の劣化状況の分析

本市では公共施設を安全に長く使い続けるため、公共施設の点検に係る「建物維持管理マニュアル用語²⁴」を作成し、年に一回、建築部位や設備の定期点検を行っています。

建物維持管理マニュアルに基づく定期施設点検結果(以下、「定期点検結果」という)を活用し、建物の劣化状況を整理します。

■ 建物維持管理マニュアルに基づく定期施設点検チェックシート(抜粋)

定期施設点検チェックシート (令和6年度)										
施設名(棟名):					確認者名					
施設担当課・所・館名:					営繕担当者①					
点検者名:					営繕担当者②					
点検部位	点検番号	点検項目	実施日	担当者点検結果	営繕担当者①	営繕担当者②	現地確認の有無	最終ランク	不具合の状態等	
屋根 (防水)	1-1	屋根の仕上げ(防水層、屋根葺き材等)にひび割れ、浮き、劣化はないか								
	1-2	押さえコンクリートの目地が浮き上がったり、破損していないか								
	1-3	ルーフドレイン廻りや、雨樋の中に枯葉や土が堆積していたり、雑草が生えていたりしていないか								
	1-4	パラペットにひび割れや浮き、剥がれはないか								
	1-5	屋根まわりのシーリング材に剥がれ、亀裂、硬化はないか								
	1-6	屋上の設置物(テレビアンテナ、放送設備、空調室外機、フェンス、手摺りなど)の固定金物にゆるみや腐食がないか								
	1-7	煙突本体、接合部や付帯金物に著しいひび割れ、腐食等はないか								
(特記記入欄)										
外壁 ・建具等	2-1	吹付け等の塗装仕上げ部分に剥がれや亀裂(クラック)はないか								
	2-2	モルタルやタイルに浮きや剥がれ、割れはないか								
	2-3	コンクリート部分で、鉄筋が露出したり、錆汁が発生したりしていないか								
	2-4	目地(打継目地等)や建具廻りのシーリング材に剥がれ、亀裂、硬化はないか								
	2-5	面格子、タラップ、 ^{タテイ} 堅樋、配管支持金物、手摺り等の取り付けに緩みや腐食はないか								
	2-6	窓ガラスや扉などの建具に開閉不良、変形、破損はないか								

① 整理する項目

建物維持管理マニュアルでは、16項目の対象部位ごとに点検内容を設定しています。

本計画における劣化状況については、「学校施設の長寿命化に係る解説書」を参考に、建物の主要な構造部位となる「①屋根・屋上」、「②外壁等」、「③内部仕上げ(内壁、床等)」、「③電気設備(高圧受電設備、昇降機等)」、「④機械設備(空調調和・換気設備、給排水設備等)」の部位から整理します。

■建物維持管理マニュアルの点検項目と劣化状況の整理項目

建物維持管理マニュアルにおける点検項目		整理項目
1	屋根(防水)	⇒ 屋根・屋上
2	外壁・建具等	⇒ 外壁等
3	内装	⇒ 内部仕上げ
4	給排水・衛生設備、空調調和・換気設備	⇒ 機械設備
5	高圧受電設備、昇降機設備	⇒ 電気設備

※建物維持管理マニュアルでは、その他に『外構、ガス設備、照明設備、非常用照明・誘導灯設備、避雷設備、排煙設備、自動火災報知機設備、消火設備、屋外電気設備』の点検項目もあります。

② 劣化状況の評価方法

劣化状況の評価にあたっては、「学校施設の長寿命化に係る解説書」を参考に、4段階での評価を行います。

屋根・屋上、外壁等の評価を定期点検結果より整理し、内部仕上げ、電気設備、機械設備を築年数により評価します。

なお、内部仕上げ、電気設備、機械設備について、定期点検結果において「C(不具合有)」又は「D(設備が故障し施設運営に支障を与えている)」となっている場合は、築年数によらず当評価を採用します。

■劣化状況の評価方法

評価	屋根・屋上、外壁等
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急な対応が必要(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)

評価	内部仕上げ、電気設備、機械設備
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上 又は不具合あり
D	設備が故障し施設運営に支障を与えている

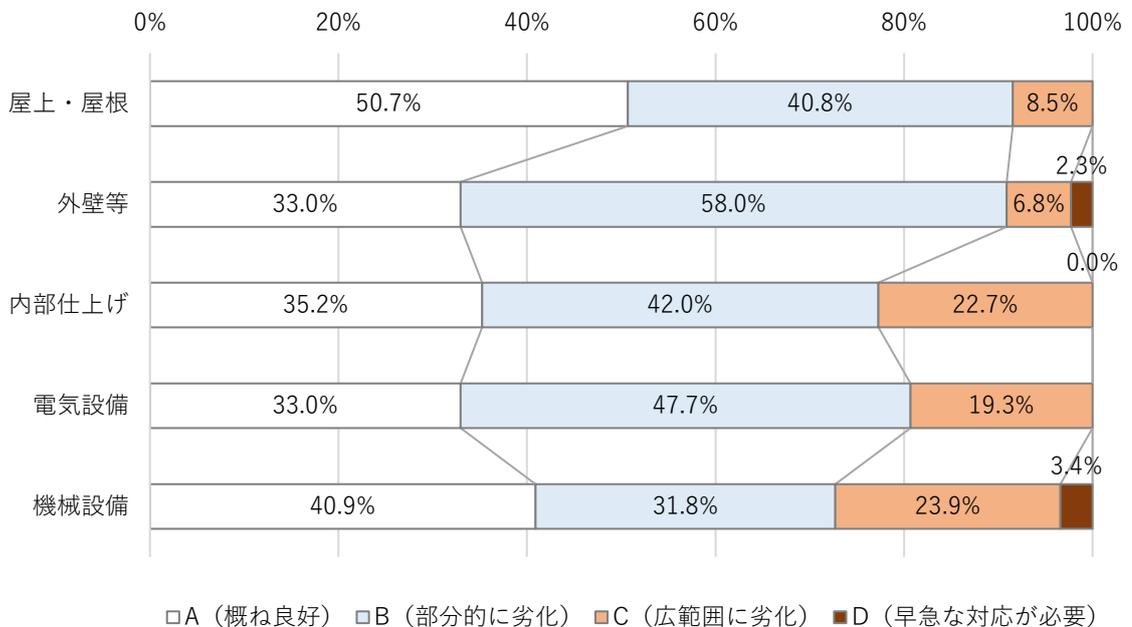
定期点検結果においてC又はDと評価された場合、築年数によらず評価を補正

③ 劣化状況の結果

小中学校を除く一般施設(建物系)88 施設の各部位のうち、多くの施設で「A(概ね良好)」、「B(部分的に劣化)」となっていますが、特に内部仕上げや電気設備、機械設備では「C(広範囲に劣化)」、「D(早急な対応が必要)」となる施設も多くなっています。

屋根・屋上、外壁等においては、「C(広範囲に劣化)」、「D(早急な対応が必要)」が占める割合は比較的低いものの、一部の施設では、漏水に繋がる劣化の進行や、躯体の安全性への影響が懸念される施設も確認されています。

■部位別の劣化状況



※令和6年度(2024年度)定期点検結果を基に整理

■対象施設の劣化状況一覧

分類	No	施設名	築年 主要な 建物	大規模修繕・大規模改修の履歴					劣化状況					
				屋上防水	外壁等	内装	電気設備 (高圧受電 設備など)	機械設備 (給排水、空 調調和器)	屋上・ 屋根	外壁 等	内部 仕上 げ	電気 設備	機械 設備	
市民文化施設	01-01	南朝霞公民館	1977	2012	2012	2012			A	B	C	C	C	
	01-02	北朝霞公民館	1976						C	B	C	C	C	
	01-03	東朝霞公民館	1980		2002	2002			B	A	B	C	C	
	01-04	内間木公民館	1983	2002	2015	2015	2016	2022	A	A	A	A	A	
	01-05	西朝霞公民館	1984						B	B	C	C	C	
	01-06	中央公民館	1984	2026	2026	2026	2026	2026	A	A	A	A	A	
	01-07	コミュニティセンター	1984	2026	2026	2026	2026	2026	A	A	A	A	A	
	01-08	朝志ヶ丘市民センター	1994						B	A	B	B	B	
	01-09	弁財市民センター	1990	2005		2009			2007	B	B	A	B	A
	01-10	宮戸市民センター	1996							B	B	B	B	B
	01-11	栄町市民センター	1996							A	B	B	B	B
	01-12	仲町市民センター	1997	2025	2025	2025	2025	2025	2025	A	A	A	A	A
	01-13	溝沼市民センター	1997							B	B	B	B	B
	01-14	根岸台市民センター	2006							A	B	A	A	A
	01-15	膝折市民センター	2009							A	B	A	A	A
	01-16	市民会館(ゆめばれす)	1976			2018				B	B	A	C	C
社会教育施設	02-01	図書館	1988	2010	2010			2010	A	B	B	C	A	
	02-02	図書館北朝霞分館(産業文化センター内に設置)	1999	2020	2020	2020	2020	2020	A	A	A	A	A	
	02-03	博物館	1996					2017	—	B	B	B	A	
	02-04	埋蔵文化財センター	1999						B	B	B	B	B	
スポーツ・公園施設	03-01	総合体育館	1982	2020	2020	2020	2020	2020	A	A	A	A	A	
	03-02	武道館	1976	2024	2024	2024	2024	2024	A	A	A	A	A	
	03-03	溝沼子どもプール	1988						A	A	B	B	B	
	03-04	滝の根テニスコート	1992						—	B	B	B	B	
	03-05	青葉台公園フィールドハウス	1982						B	B	C	C	C	
	03-05'	青葉台公園管理事務所	1981						B	B	C	C	C	
	03-10	内間木公園弓道場	1999						B	B	B	B	B	
	03-17	朝霞中央公園 野球場	1982						—	D	C	C	C	
	03-17'	朝霞中央公園 陸上競技場	1992						—	D	C	B	B	
	03-20	水久保公園管理施設	1990							B	B	B	B	B
産業系施設	04-01	産業文化センター	1999	2020	2020	2020	2020	2020	A	A	A	A	A	
	04-02	浜崎農業交流センター	1997						A	A	B	B	B	
学校教育施設	05-16	浜崎学校給食センター	1986			2018		2018	B	C	C	B	A	
	05-18	溝沼学校給食センター	2002						A	B	B	B	C	
	05-19	子ども相談室	1995						—	B	B	B	B	
子育て支援系施設	06-01	北朝霞保育園	1978						B	B	C	C	C	
	06-02	栄町保育園	1979						A	A	C	C	C	
	06-03	泉水保育園	1981						B	B	C	C	C	
	06-04	さくら保育園	2001						B	B	B	B	B	
	06-05	宮戸保育園	2004						B	B	B	B	C	
	06-06	溝沼保育園(溝沼複合施設内に設置)	2004						C	C	C	B	C	
	06-07	仲町保育園	2007						A	A	A	A	A	
	06-08	きたはら児童館	1997						B	B	B	B	B	
	06-09	はまさき児童館(総合福祉センター内に設置)	2000					2018	A	B	B	B	D	
	06-10	ねぎしだい児童館(根岸台市民センター内に設置)	2006						A	B	A	A	A	
	06-11	ひざおり児童館(膝折市民センター内に設置)	2009						A	B	A	A	A	
	06-12	みぞぬま児童館(溝沼複合施設内に設置)	2004						C	C	C	B	C	
	06-13	膝折放課後児童クラブ	1998							C	B	B	B	B
	06-14	岡放課後児童クラブ	1996							—	B	B	B	C
	06-15	浜崎放課後児童クラブ	2005							—	B	B	B	B
	06-16	本町放課後児童クラブ	1992							C	A	B	B	B
	06-17	栄町放課後児童クラブ	2001							A	B	C	B	B
	06-18	根岸台放課後児童クラブ	2012							A	B	C	A	A
	06-19	朝志ヶ丘放課後児童クラブ	2013							—	A	A	A	A
	06-20	溝沼放課後児童クラブ	2014							A	A	A	A	A
	06-21	幸町放課後児童クラブ	2010							—	B	A	A	A
	06-22	泉水放課後児童クラブ	2010							A	A	A	A	A
	06-23	ほんちょう児童館	2019							A	A	A	A	A

分類	No	施設名	築年		大規模修繕・大規模改修の履歴					劣化状況				
			主要な建物	屋上防水	外壁等	内装	電気設備 (高圧受電設備など)	機械設備 (給排水空調調和器)	屋上・屋根	外壁等	内部仕上げ	電気設備	機械設備	
保健・福祉施設	07-01	健康増進センター(わくわくどーむ)	1994	2016	2016	2010	2014	2012	B	B	A	A	C	
	07-02	特別養護老人ホーム(朝光苑)	1986	2017				2019	B	B	B	B	A	
	07-03	総合福祉センター(はあとびあ)	2000					2018	A	B	B	B	D	
	07-04	栄町高齢者地域交流室	1983						—	A	C	C	C	
	07-05	浜崎老人福祉センター(総合福祉センター内に設置)	2000					2018	A	B	B	B	D	
	07-06	溝沼老人福祉センター(溝沼複合施設内に設置)	2004						C	C	C	B	C	
	07-07	シルバーサロン(根岸台市民センター内)	2006						A	B	A	A	A	
	07-08	シルバーサロン(弁財市民センター内)	1991	2005		2009		2007	B	B	A	B	A	
	07-09	シルバーサロン(膝折市民センター内)	2009						A	B	A	A	A	
	07-10	保健センター	1979		2018	2018		2002	B	B	A	C	C	
行政系施設	08-01	市役所	1972	2001				2001	B	C	C	C	B	
	08-02	内間木支所	1980	2000	2001	2001		2011	B	B	B	C	A	
	08-03	消防団第一分団詰所	2008						—	A	C	A	A	
	08-04	消防団第二分団詰所	2003						—	A	B	B	B	
	08-05	消防団第三分団詰所	1988						—	A	B	B	B	
	08-06	消防団第四分団詰所	1998						B	A	B	B	B	
	08-07	消防団本部・第五分団詰所	2018						—	A	A	A	A	
	08-08	消防団第六分団詰所	2022						—	A	A	A	A	
	08-09	消防団第七分団詰所	2000						—	A	B	B	B	
	08-10	消防団第八分団詰所	1971						—	A	C	C	C	
駐車場・駐輪場	09-01	朝霞台駅南口地下自転車駐車場	1989						B	B	B	B	B	
	09-02	朝霞台駅南口第1自転車駐車場	1992						A	B	B	B	B	
	09-03	北朝霞駅東口地下自転車駐車場	1997						A	B	B	B	B	
	09-04	朝霞駅東口立体自転車駐輪場	1999						A	B	B	B	B	
	09-05	朝霞駅南口原動機付自転車駐車場	2007						B	B	A	A	A	
	09-06	朝霞駅東口地下自転車駐車場	2007						A	B	A	A	A	
	09-07	朝霞駅南口地下自転車駐車場	2007						A	B	A	A	A	
その他	09-11	朝霞市斎場	1997					2016	B	C	B	B	A	
	09-12	リサイクルプラザ(エコネットあさか)	2000						B	B	B	B	B	
	09-13	女性センター(それいゆぶらざ)(中央公民館内に設置)	1984	2026	2026	2026	2026	2026	A	A	A	A	A	

※令和6年度(2024年度)定期点検結果を基に整理

I-3 課題の整理

(1)長寿命化対策の検討にあたっての課題

① 建物の劣化による事故・不具合等の予防

対象施設の多くが、定期点検にて概ね良好又は部分的に劣化と評価されていますが、一部の施設で広範囲の劣化の進行や、建物の躯体等への影響が確認されています。

長寿命化対策を行うにあたっては、事故の発生や利用継続の支障となる前に、劣化の進行状況を把握し、適切な対策を講じていく必要があります。

② 施設の特性を踏まえた改修の検討

本計画で長寿命化対策を検討する、小中学校を除く一般施設(建物系)は、日常的に広く市民に利用される施設や、利用する方が限られる施設など、施設の設置目的は様々です。

長寿命化対策を行うにあたっては、限られた予算のなかで改修等を実施していくため、施設の特性を踏まえた検討が必要です。

③ 社会的要求に対する対応

対象施設を長寿命化し、より長く利用していくためにも、老朽化だけでなく、将来の社会的要求に対する性能確保も検討することが必要です。

現状、バリアフリー対応が十分ではない施設もあることから、改修等に併せて、時代に則した性能の確保・向上に取り組むことも求められます。

(2)維持管理費縮減方策の検討にあたっての課題

① 多様な方策の検討による維持管理費の縮減

公共施設は、供用を開始してから長期間使用するため、ランニングコストである維持管理費がイニシャルコストである建設費を上回るが見込まれます。

維持管理費縮減方策の検討にあたっては、これまでの施設管理に係る手法などを再考し、新たな手法の導入や技術面での発展などを踏まえ、多様な方策の検討により費用の縮減につなげていくことが必要です。

② 自主財源を確保する方策の可能性

今後も対象施設を効果的・効率的に運営していくためには、財源の確保も重要な視点です。

現状、利用料金収入を得ている施設もありますが、公共の資産としての活用の可能性について検討していくことが必要です。

(3)延床面積縮減方策の検討にあたっての課題

① 人口推計や施設の安全性に配慮する必要性

本市の人口は現在も増加傾向にあります。現在の推計では約 15 年後の令和 22 (2040) 年に人口のピークを迎え、それ以降は減少傾向と想定されています。

また、このままの改修サイクルでは耐用年数を迎える施設に対して、改修等をできない施設が増えていく状況となっていくことが想定されます。施設の安全を確保し、適切なサービスを提供する必要があることから、延床面積の縮減について検討を進める必要があります。

② 今後の社会状況の変化に伴う公共サービスの確保

当面は人口が増加すると見込まれるものの、人口構成比は変化するものと見込まれており、今後、現状の公共サービスに対するニーズが変化することも予想されます。

将来のニーズ変化を踏まえて、必要な公共サービスが確保できるよう検討することも求められます。